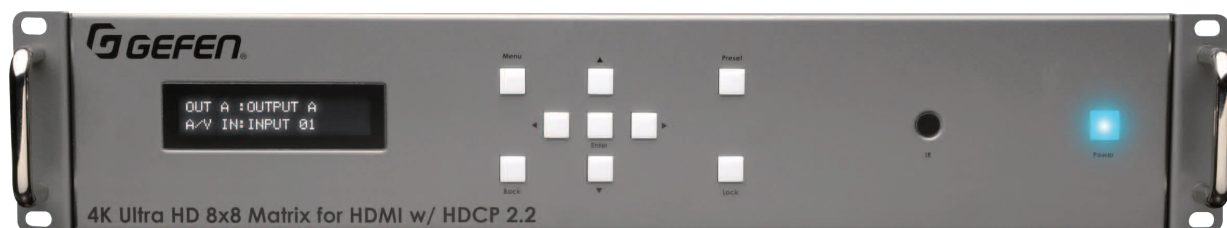




8x8 Matrix for HDMI w/HDCP2.2

4K UHD 対応 8 × 8 HDMI マトリクス切替機 取扱説明書

型番 : EXT-UHD-88



4K ULTRA HD
60Hz, 4:2:0

■安全上の注意

この度は Gefen 製品をお買いあげいただき、ありがとうございます。機器のセッティングを行う前に、この取扱説明書を十分にお読みください。この説明書には取り扱い上の注意や、購入された製品を最適にお使いいただくための手順が記載されています。長くご愛用いただくため、製品のパッケージと取扱説明書を保存してください。

●注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。



警告 この表示内容を見逃して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・必ず付属の電源アダプター、電源ケーブルを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となり大変危険です。また、付属の電源アダプター、電源ケーブルを他の製品で使用しないでください。
- ・AC100V、50Hz/60Hzの電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- ・分解や改造は行わないでください。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- ・雷が鳴り出したら、金属部分や電源プラグには触れないでください。感電する恐れがあります。
- ・煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、本体や電源ケーブル・プラグが破損した等の異常があるときは、ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。



注意 この表示内容を見逃して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

- ・万一、落としたり破損が生じた場合は、そのまま使用せずに修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
- ・以下のような場所には設置しないでください。
直射日光の当たる場所 / 極度の低温または高温の場所 / 湿気の多い場所 / ほこりの多い場所 / 振動の多い場所 / 風通しの悪い場所
- ・配線は電源を切ってから行ってください。電源を入れたまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- ・ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- ・廃棄は専門業者に依頼してください。燃やすと化学物質などで健康を損ねたり火災などの原因となります。



This product uses UL listed or CE-compliant power supplies.

■操作上の注意

- ・EXT-UHD-88 にスケーラー機能は搭載していません。本機に接続する全ての表示機器は必ずソース機器の解像度に対応するものをご使用下さい。すべてのソース機器に共通の解像度に設定することをお勧めします。
- ・常に最新のファームウェアをインストールしてご使用ください。ファームウェアを自動でダウンロード / インストールできる Gefen のソフトウェア「Syner-G Software Suite」を無料で提供しております。Gefen ホームページ (<http://www.gefen.com/support/download.jsp>) からダウンロードできますので是非ご利用下さい。

■ライセンス

本製品はジェネラルパブリックライセンスバージョン2とバージョン2.1、レッサージェネラルパブリックライセンスバージョン2.1及びバージョン3、BSD、及びBSDスタイルライセンスを含むオープンソースライセンスを対象するソフトウェアを使用しています。本製品の配布と使用はこれらのライセンスに規定する賠償責任の条件と制限に基づきます。ソースコードに特定のライセンス条件や著作権表示が記載されています。本製品の有効日から数えて3年間、我々は要求に応じて、ライセンス（GPLまたはLGPL）に該当するソフトウェアに対し、ソフトウェアインターチェンジに使用する関連のオープンソースコードの機械可読コピーを提供します。下記ソフトウェアとライブラリは本製品に付属され、関連するオープンソースライセンスの対象とされます。

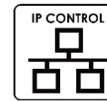
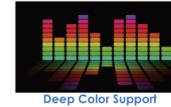
- ・jQuery
- ・lwIP

目次

■安全上の注意.....	2	●#get_edid_lock.....	37
■操作上の注意.....	2	●#get_edid_mode.....	37
■ライセンス.....	2	●#get_gateway.....	37
■目次.....	3	●#get_http_port.....	37
■主な特長.....	4	●#get_input_hdcp.....	37
■梱包内容の確認.....	4	●#get_io_name.....	37
		●#get_ip_address.....	38
		●#get_ip_mode.....	38
		●#get_ipconfig.....	38
		●#get_mac_addr.....	38
		●#get_netmask.....	38
		●#get_output_hdcp.....	39
		●#get_power.....	39
		●#get_preset_name.....	39
		●#get_remote_udp_access.....	39
		●#get_remote_udp_ip.....	39
		●#get_remote_udp_port.....	39
		●#get_telnet_access.....	39
		●#get_telnet_port.....	39
		●#get_telnet_welcome.....	40
		●#get_udp_access.....	40
		●#get_udp_port.....	40
		●#help.....	40
		●#lock_matrix.....	40
		●#power.....	40
		●#reboot.....	41
		●#send_hpd.....	41
		●#set_device_desc.....	41
		●#set_discovery.....	41
		●#set_discovery_mode.....	41
		●#set_edid_copy.....	41
		●#set_edid_lock.....	41
		●#set_edid_mode.....	42
		●#set_feedback.....	42
		●#set_gateway.....	42
		●#set_http_port.....	42
		●#set_input_hdcp.....	42
		●#set_io_name.....	42
		●#set_ip_address.....	43
		●#set_ip_mode.....	43
		●#set_ir_channel.....	43
		●#set_lcd_brightness.....	43
		●#set_netmask.....	43
		●#set_output_hdcp.....	43
		●#set_preset_name.....	43
		●#set_remote_udp_access.....	44
		●#set_remote_udp_ip.....	44
		●#set_remote_udp_port.....	44
		●#set_showme.....	44
		●#set_telnet_access.....	44
		●#set_telnet_port.....	44
		●#set_telnet_welcome.....	44
		●#set_udp_access.....	45
		●#set_udp_port.....	45
		●#show_firmware_version.....	45
		●#use_telnet_login.....	45
		●m.....	45
		●p.....	45
		●r.....	45
はじめに			
■各部の名称と機能.....	5		
●フロントパネル.....	5		
●リアパネル.....	5		
●IRリモコン.....	6		
●IRリモコンの電池交換.....	6		
●IRチャンネルの設定.....	6		
■接続方法			
●接続例			
■Syner-G経由でネットワーク設定			
基本操作			
■フロントパネルの操作.....	8		
●本体の電源.....	8		
●ルーティングステータスを表示.....	8		
●入力から出力へルーティング.....	9		
●出力のマスクング.....	10		
●入力をオフにする.....	10		
●本体のロック/ロック解除.....	11		
●プリセットの選択.....	11		
●メニューシステムへのアクセス.....	12		
●Setup>HPD Control.....	12		
●Setup>HDCP Control.....	13		
●EDID Management>EDID Mode.....	14		
●Network>IP Settings.....	15		
●Network>TCP/Telnet Settings.....	16		
●Network>UDP Settings.....	18		
●Network>Discovery Settings.....	19		
●System>RS-232 Feedback.....	20		
●System>LCD Brightness.....	20		
●System>IR Channel.....	21		
●System>Factory Reset.....	21		
●System>Reboot.....	22		
■ウェブインターフェース.....	22		
●ウェブインターフェースについて.....	22		
●電源の操作.....	24		
●本体のロック.....	24		
●ルーティング構成の表示.....	25		
●入力のルーティングと出力のマスクング.....	25		
●プリセットの作成/編集.....	26		
●入出力の構成.....	27		
●入出力名の変更.....	28		
●HPDコントロール.....	28		
●HDCP.....	29		
●EDIDモードの設定.....	29		
●EDIDデータのコピー.....	30		
●EDID情報の取得.....	30		
●EDIDデータのアップロード/ダウンロード.....	31		
●ネットワーク設定の構成.....	32		
●システム設定.....	33		
高度な操作			
■TelnetとRS-232.....	35		
●Telnetの使用.....	35		
●RS-232の使用.....	35		
■コマンド一覧.....	36		
●#factory_reset.....	36		
●#get_device_desc.....	36		
●#get_discovery.....	36		
●#get_discovery_mode.....	37		
付録			
■ネットワークケーブルのワイヤリング.....	46		
■デフォルト設定.....	46		
■内部EDIDプロフィール.....	46		
■仕様.....	48		

■主な特長

- ・ 4K Ultra HD 対応、8 入力 8 出力マトリクス切替機。
- ・ 4K UHD 3840 × 2160@60Hz(4:2:0,8bit)/30Hz(4:4:4,8bit)、4K DCI 4096 × 2160@24Hz/30Hz(4:4:4)、1080p、1920 × 1200(WUXGA)の解像度に対応。
- ・ HDCP 1.4 に準拠。
- ・ 12 ビット、Deep Color (1080p フル HD) に対応。
- ・ 3DTV、Lip Sync パススルー機能。
- ・ フロントパネルのプッシュボタンから切替操作、LCD ディスプレイからステータスを確認。
- ・ アドバンスド EDID マネージメント機能。
- ・ 対応音声形式：LPCM 7.1、Dolby®TrueHD、Dolby Digital®Plus、DTS-HD®Master Audio™。
- ・ 別売の HDMI to DVI アダプター * を使用して DVI ソース機器や DVI ディスプレイに対応。
*ADA-HDMIF-2-DVIF、ADA-HDMIM-2-DVIFN
- ・ RS-232 経由で遠隔操作可能。
- ・ WebGUI や Telnet を使った IP コントロール機能。
- ・ IR リモコン付属。
- ・ Gefen Syner-G Software Suite に対応。
- ・ ファームウェアのフィールドアップデートが可能。



■梱包内容の確認

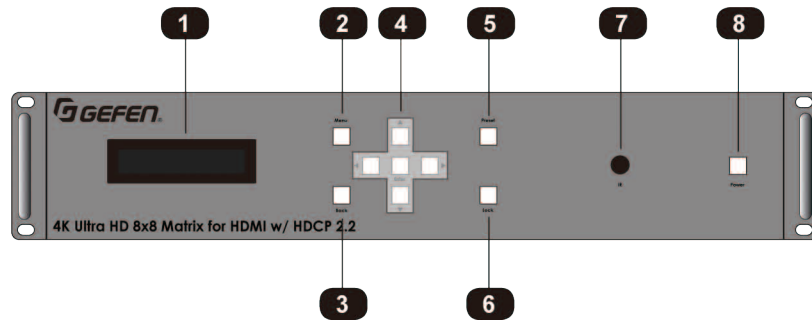
万一足りないものがありましたら、購入された販売店までお問い合わせください。

- ・ EXT-UHD-88 本体 × 1
- ・ IR リモコン × 1
- ・ 電源アダプター (EXT-PS24U-O) × 1
- ・ 電源コード (IEC タイプ) × 1

はじめに

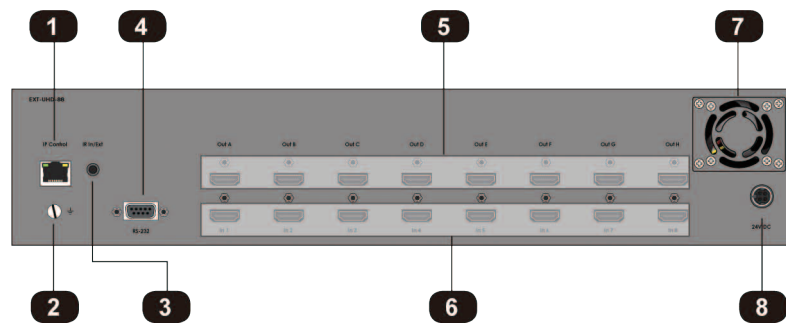
■各部の名称と機能

●フロントパネル



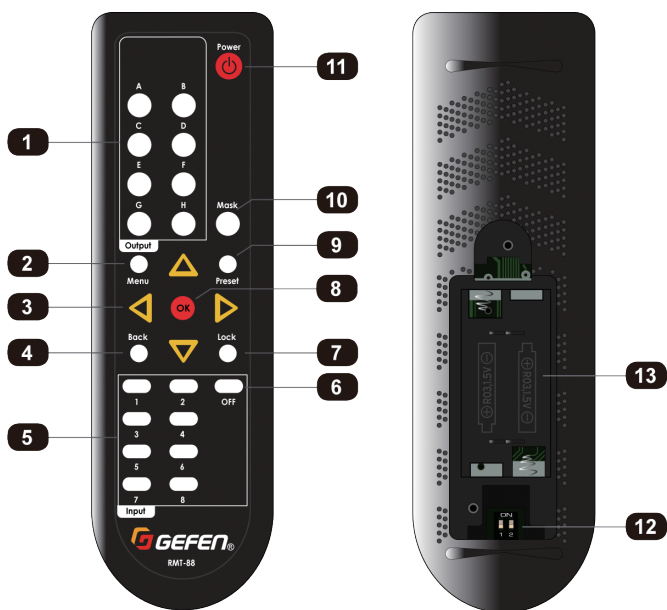
①液晶ディスプレイ	本体の設定や操作のステータスを表示します。
② Menu	内部メニューシステムにアクセスします。詳しくは 12 ページ「メニューシステムへのアクセス」を参照してください。
③ Back	メニュー操作手順をひとつ戻します。
④矢印、Enter	矢印ボタンを使って、メニューシステムのアイテムを選択します。「Enter」ボタンを押して、選択されたアイテムを確定します。詳しくは 8 ページ「フロントパネルの操作」を参照してください。
⑤ Preset	プリセットを選択します。
⑥ Lock	本体をロックします。詳しくは 11 ページ「本体のロック / ロック解除」を参照してください。
⑦ IR	付属の IR リモコンからの IR 信号を受信します。
⑧ Power	電源を ON/OFF します。

●リアパネル



① IP Control	イーサネットケーブルを使用して、端子をローカルエリアネットワーク(LAN)に接続します。詳しくは 7 ページの「接続方法」を参照してください。
②アース端子	安全アースです。館内のアース端子と接続してください (AWG16 以上)。
③ IR In/Ext	別売の IR 受光部延長ユニット (EXT-RMT-EXTIRN) を接続します。
④ RS-232	RS-232 ケーブルを使用して、RS-232 対応機器を接続します。詳しくは 7 ページの「接続方法」を参照してください。
⑤ Out (A ~ H)	HDMI ケーブルを使用して、最大 8 系統の 4K Ultra HD 表示機器を接続します。
⑥ In (1 ~ 8)	HDMI ケーブルを使用して、最大 8 系統の 4K Ultra HD ソース機器を接続します。
⑦冷却ファン	冷却用のファンです。排気口をふさがらないで下さい。
⑧ 24V DC	付属の電源アダプターを接続します。

● IR リモコン



① Output (A ~ H)	出力 (A ~ H) を選択します。
② Menu	オンスクリーンメニューを表示します。
③ 矢印ボタン	OSD メニューをナビゲートします。
④ Back	操作手順をひとつ戻します。
⑤ Input (1 ~ 8)	入力 (1 ~ 8) を選択します。
⑥ Off	入力をオフにします。
⑦ Lock	フロントパネルのボタン操作をロック / ロック解除します。
⑧ OK	選択した項目を確定します。
⑨ Preset	プリセットを選択します。詳しくは 10 ページ「プリセットの選択」を参照してください。
⑩ Mask	選択した出力をマスクします。
⑪ Power	電源を ON/OFF します。
⑫ DIP スイッチ	IR リモコンの IR チャンネルを設定します。IR リモコンと本体を連動させるには、双方を同じチャンネルに設定する必要があります。詳しくは右の「IR チャンネルの設定」を参照してください。本体の IR 設定はコマンド #set_ir_channel から設定できます。
⑬ バッテリースロット (電池未装着の状態)	単三アルカリ乾電池 2 個を収納します。詳しくは右上「IR リモコンの電池交換」を参照してください。

● IR リモコンの電池交換



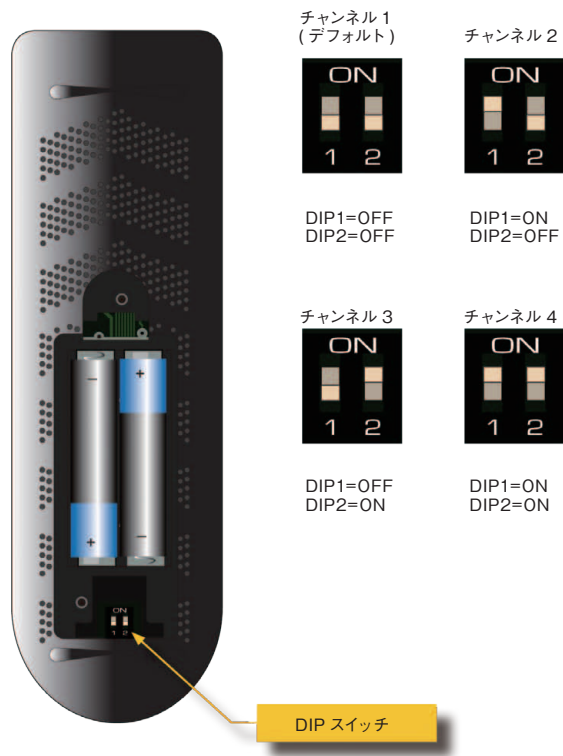
- ① IR リモコンのカバーを取り外します。
- ② 2 本の単三アルカリ乾電池をスロットに入れます。
- ③ カバーを元に取り付けます。



誤った種類の電池を使用すると、電池が破裂する恐れがあります。十分にご注意ください。また使用後の電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。

● IR チャンネルの設定

本体と付属の IR リモコンの IR は同じ IR チャンネルに設定する必要があります。「#set_ir_channel」コマンドを使用して、本体の IR チャンネルを設定します。



■ 接続方法

▼ 映像

- ① HDMI ケーブルを使用して、本体の入力端子 (In 1 ~ In 8) は最大 8 系統の 4K Ultra HD ソース機器を接続します。
- ② HDMI ケーブルを使用して、本体の出力端子 (Out A ~ Out H) は最大 8 系統の 4K Ultra HD 表示機器を接続します。

▼ IP 制御

- ③ イーサネットケーブル (CAT5e 以上) を使用して、本体の「IP Control」端子をローカルエリアネットワーク (LAN) に接続します。詳しくは、右の「Syner-G 経由でネットワーク設定」を参照してください。

▼ RS-232

- ④ RS-232 ケーブルを使用して、本体の「RS-232」端子とシリアルコントローラの RS-232 端子を接続します。詳しくは 35 ページの「RS-232 の使用」を参照してください。

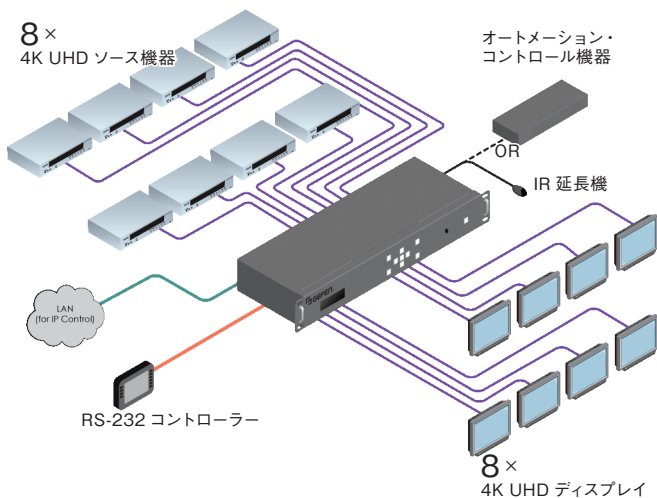
▼ IR

- ⑤ 本体の「IR In/Ext」端子に別売の IR 受光部延長ユニット (型番: EXT-RMT-EXTIRN) を接続します。

▼ Power

- ⑥ 付属の電源アダプターを本体の「24V DC」電源端子に接続します。
- ⑦ 電源をコンセントに接続します。

● 接続例



■ Syner-G 経由でネットワーク設定

- ① Gefen Syner-G アプリケーションを起動します。アプリケーションは Gefen ホームページからダウンロード可能です。
- ② リストから「EXT-UHD-88」を選択します。

Discover	Configure	Manage EDID	Update
My PC	10.5.64.90	00:1D:09:7E:E1:1F	Lo
Product Name	IP Address	MAC Address	
EXT-UHD-88	10.5.64.205	00:1C:91:04:90:03	EXT
EXT-MFP	10.5.64.52	00:1C:91:04:50:05	EXT
GEF-UHDA-88-HBT2	10.5.64.181	00:1C:91:04:90:21	GEI
EXT-CU-LAN	10.5.64.151	00:1C:91:04:60:17	EXT

- ③ 「Device Settings」セクションの「IP Mode」ドロップダウンリストから IP モードを設定します (Static または DHCP)。

- ・ 「Static」を選択すると、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを手動で入力します。必要に応じてネットワーク管理者にご相談下さい。
- ・ 「DHCP」を選択すると、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイは DHCP サーバから自動的に割り当てられます。

Device Settings		
EXT-UHD-88	IP Mode	Static
00:1C:91:04:90:03	Web GUI Port	Static
10.5.64.205	Telnet Port	DHCP
155.255.255.0	Firmware Version	Auto
10.5.64.1	Hardware Version	23
	Firmware Version	V0.2B
	Hardware Version	V2.1
	Description	EXT-UHD-88

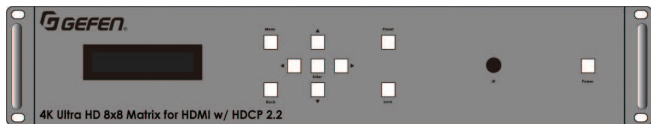
- ④ 「Save」ボタンをクリックします。
- ⑤ 本体は自動的に再起動し、新しいネットワーク設定を実行します。
- ⑥ ブラウザに本体の IP アドレスを入力し、内蔵ウェブインターフェイスにアクセスします。もしくは Telnet セッションを開始して、アクセスします。詳しくは下記情報を参照してください。
 - ・ 22 ページ「ウェブインターフェイス」
 - ・ 35 ページ「Telnet と RS-232」

基本操作

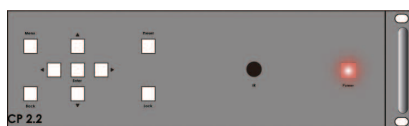
■フロントパネルの操作

●本体の電源

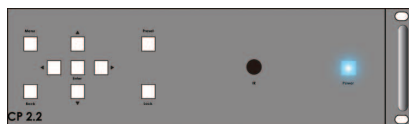
「Power」ボタンを使って、本体の電源をオン/オフします。「Power」ボタンは本体のフロントパネルまたは IR リモコンにあります。



- ①付属の電源をコンセントに接続します。「Power」ボタンが赤く点灯し、本体がコンセントに接続されていることを表します。ただし電源はオフの状態です。



- ②フロントパネルまたは IR リモコンの「Power」ボタンを押します。
③フロントパネルの「Power」ボタンが青く点灯し、本体の電源がオンになったことを表します。



最初に表示される情報は型番と現在のファームウェアです。この例では、現在のファームウェアは「v0.2B」です。最新バージョンのファームウェアについては、Gefen のホームページでご確認下さい。

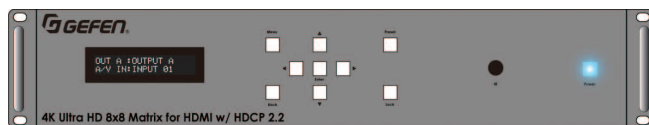


- ④少しするとルーティングステータス画面が表示されます。ルーティング画面はメニューシステムのホーム画面になります。

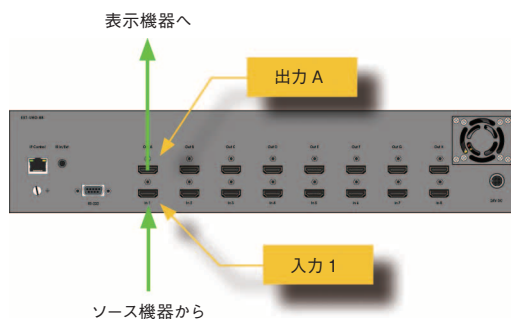


●ルーティングステータスを表示

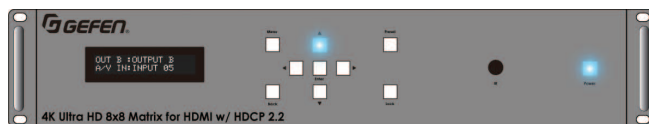
- ①ルーティング画面に進みます。ルーティング画面が表示されていない場合は、ルーティング画面が表示されるまでフロントパネルまたは IR リモコンの「Back」ボタンを押します。



以下の例では、入力 1 に接続されているソース機器が出力 A に接続されているディスプレイ（表示機器）にルーティングされていることを表します。



- ②フロントパネルまたは IR リモコンの▲または▼ボタンを押して、各出力がどの入力から信号を受けているかを確認します。フロントパネルの▲または▼ボタンを押すと、LED は青く点灯します。

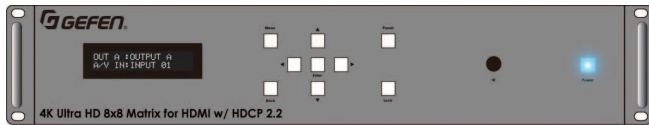


●入力から出力へルーティング

出荷時のルーティングモードは「one-to-one」です。つまり入力 1 は出力 A に、入力 2 は出力 B に、入力 3 は出力 C にルーティングされます。ルーティングの変更方法は以下の通りです。

▼フロントパネルから設定する

- ①ルーティング画面に進みます。ルーティング画面が表示されていない場合、表示されるまでフロントパネルまたは IR リモコンの「Back」ボタンを押します。



- ②▲または▼ボタンを押して出力を選択します。ボタンを押すと LED が青く点灯します。

以下は、In 4(入力 4)に入力している 4K Ultra HD ソースを、Out G(出力 G) に接続している 4K Ultra HD ディスプレイに表示する例で説明します。

まずは、出力 G が表示されるまで▲または▼ボタンを押します。現在、入力 7 が出力 G にルートされていますが、これを入力 4 に切替えます。

- ③「Enter」ボタンを押します。

- ④入力の横に矢印カーソルが表示され、入力に変更可能な状態であることを表します。



- ⑤▲または▼ボタンを押して、入力を選択します。この例では入力 4 を選択します。



- ⑥入力を選択後に「Enter」ボタンを押します。入力の横にある矢印カーソルが消え、入力に変更できないことを示します。



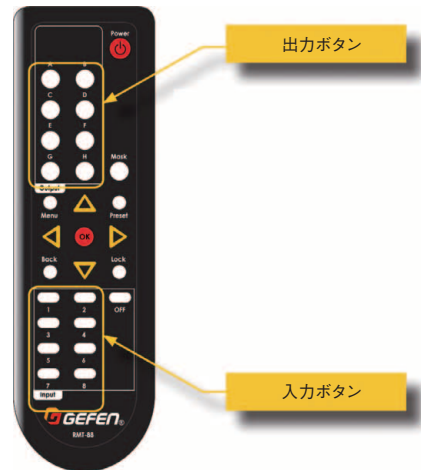
- ⑦選択した入力を選択した出力へルーティングされます。

- ⑧手順②～⑥を繰り返し、他の出力のルーティングを変更します。

▼IR リモコンで設定する

- ①ルーティング画面に進みます。ルーティング画面が表示されていない場合、ルーティング画面が表示されるまでフロントパネルまたは IR リモコンの「Back」ボタンを押します。

- ②IR リモコン上部の出力ボタン (A ~ H) を押して、出力を選択します。この例では、入力 5 を出力 D にルートします。



- ③選択した出力はフロントパネルのディスプレイに表示されます。この例では、「D」ボタン (出力 D) を押します。



- ④IR リモコン下部の入力ボタン (1 ~ 8) を押して、入力を選択します。

- ⑤選択された入力と出力はフロントパネルの液晶ディスプレイに表示されます。



- ⑥ルーティングの設定は完了です。

●出力のマスキング

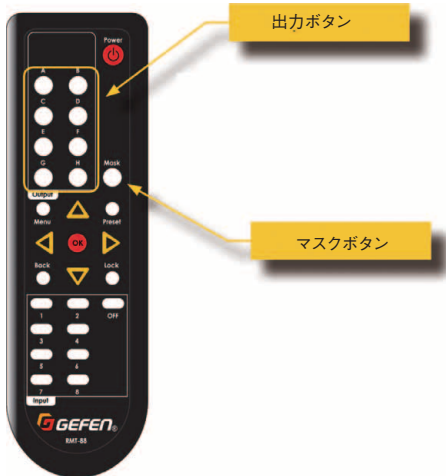
出力のマスキングには、フロントパネルまたは IR リモコンが必要です。内蔵ウェブインターフェイス経由で出力をマスクする事もできます。詳しくは、25 ページ「入力のルーティングと出力のマスキング」を参照してください。

出力をマスキングすると黒画面になり、映像が表示されなくなります。音声も OFF になります。例えば、入力 2 が出力 A、出力 B と出力 C にルーティングされています。ここで出力 B をマスクすると、出力 B の A/V 信号のみがマスキングされ、出力 A と出力 C は変わりません。

①どの画面からでも開始できます。この例では、ルーティング画面から開始します。



- ② IR リモコンの「Mask」ボタンを押します。
- ③ IR リモコン上部の出力ボタン（A～H）を押して出力を選択します。



- ④ 選択した出力がマスクされます。
- ⑤ 出力のマスキングを解除するには、手順②～③を繰り返します。

i 出力をマスクしても、フロントパネルの液晶ディスプレイには何も表示されません。ただし、内蔵のウェブインターフェイスには常時反映されます。

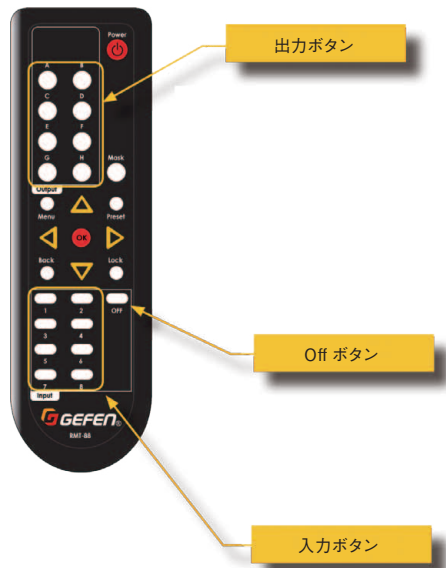
●入力をオフにする

入力をオフにすると入力信号はルーティングされません。例えば、入力 2 が出力 A、出力 B と出力 C へルーティングされている状態で入力 2 をオフにすると、A/V 信号は出力 A、出力 B と出力 C に表示されなくなります。

入力をオフにするには、IR リモコンが必要です。また、内蔵ウェブインターフェイス経由で入力をオフにすることもできます。詳しくは 25 ページ「入力のルーティングと出力のマスキング」を参照してください。

①どの画面からでも開始できます。IR リモコン上部の出力ボタン（A～H）を押します。

例えば入力 3 をオフにする場合、入力 3 が出力 H にルートされていれば、「H」ボタンを押します。



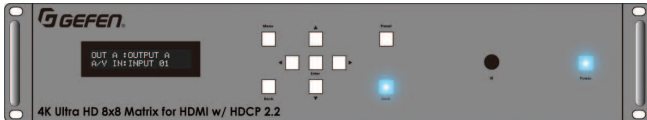
- ② IR リモコンの「Off」ボタンを押します。
- ③ 選択した入力オフになります。
- ④ 変更はフロントパネルの液晶ディスプレイに表示されます。
本体の入力をオフにするには、必ず入力にソース機器を接続して下さい。
- ⑤ 入力をオンするには、出力ボタン（A～H）を押してから入力ボタンを押します。

●本体のロック / ロック解除

誤操作で電源をオフにしたり、ルーティングの設定を誤って変更してしまわないために、本体のフロントパネルをロックすることができます。本体をロックすると、フロントパネルや内蔵ウェブインターフェイス、IR リモコンからは操作できなくなります。ただし本体ロック中、本機は RS-232/Telnet コマンドを受けます。

▼フロントパネルから設定する

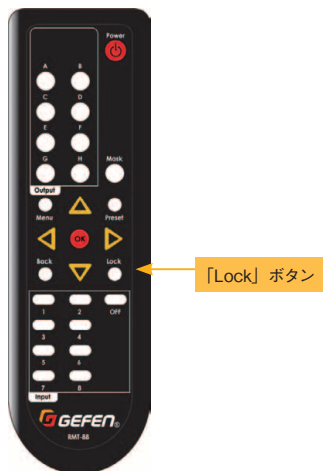
- ①どの画面からでも開始できます。「Lock」ボタンを長押しします。
- ②「Lock」ボタンは6回青く点滅し、その後青く点灯します。
- ③「Lock」ボタンを離します。
- ④本体はロックされました。



- ⑤ロックを解除するには、「Lock」ボタンを長押しします。
- ⑥「Lock」ボタンは6回青く点滅し、その後消灯します。
- ⑦本体のロックは解除されました。

▼IR リモコンで設定する

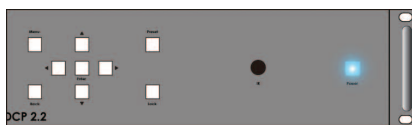
- ①どの画面からでも開始できます。IR リモコンの「Lock」ボタンを長押しします。



- ②フロントパネルの「Lock」ボタンは青く点灯します。
- ③本体はロックされました。



- ④ロックを解除するには、IR リモコンの「Lock」ボタンを押します。
- ⑤フロントパネルの「Lock」ボタンは消灯します。
- ⑥本体のロックは解除されました。

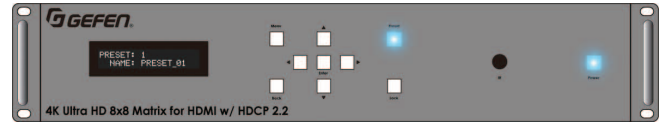


●プリセットの選択

フロントパネルまたは IR リモコンを使って、プリセットを呼び出すことができます。詳しくは、26 ページの「プリセットの作成 / 編集」を参照してください。

▼フロントパネルから呼び出す

- ①どの画面からでも開始できます。
- ②フロントパネルの「Preset」ボタンを押すと LED が青く点滅します。



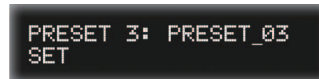
- ③プリセット選択画面が表示されます。



- ④フロントパネルの▲または▼ボタンを押してプリセットを選択します。



- ⑤プリセットを選択後、フロントパネルの「Enter」ボタンを押してプリセットを呼び出します。

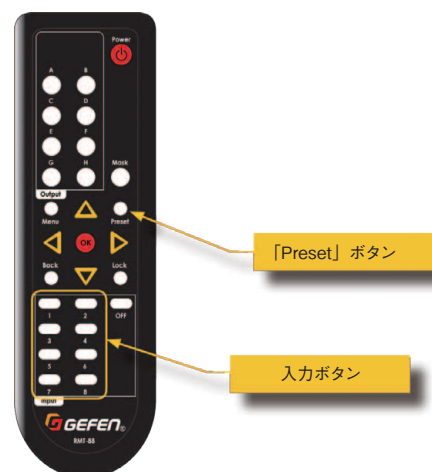


- ⑥プリセットが読み込まれ、保存されたルーティングステータスを本機に適用します。
- ⑦暫くすると、ルーティング画面が表示されます。



▼IR リモコンから呼び出す

- ①どの画面からでも開始できます。
- ②IR リモコンの「Preset」ボタンを押します。



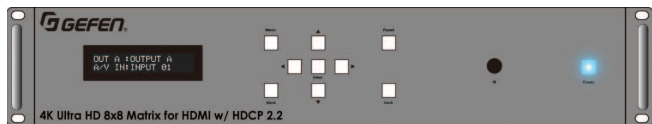
- ③ IR リモコン下部の入力ボタンを使って、プリセットを選択します。
IR リモコンを使用する場合、呼び出せるプリセットは 1～8 までです。
- ④プリセットが読み込まれ、保存されたルーティングステータスを本機に適用します。

i IR リモコンの使用時、フロントパネルの液晶ディスプレイに確認情報は表示されません。

●メニューシステムへのアクセス

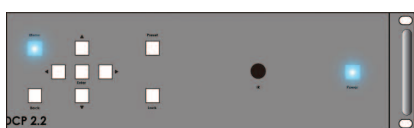
フロントパネルのメニューシステムから本機を操作することができますが、内蔵ウェブインターフェイス経由での操作をお勧めします。詳しくは 22 ページの「ウェブインターフェイス」を参照してください。

①ルーティング画面に進みます。



OUT B : OUTPUT B
A/W IN: INPUT 02

②フロントパネルまたは IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。「Menu」ボタンを押すと青く点滅します。



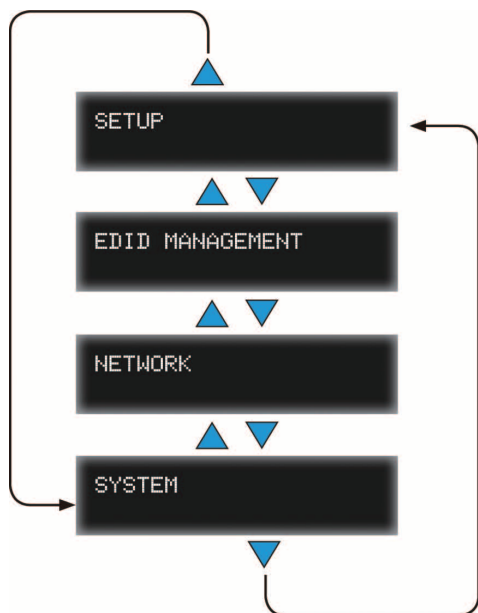
③「Setup」メニューが表示されます。

SETUP

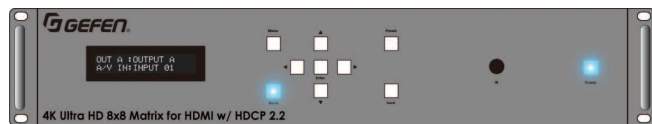
メニューシステムは「Setup」、「EDID Management」、「Network」と「System」の 4 種類です。

④▲または▼ボタンを押してメニューを選択します。操作するとボタンは青く点灯します。

⑤メニューシステムは下記の順番で表示されます。



⑥ルーティング画面に戻る場合、ルーティング画面が表示されるまでフロントパネルまたは IR リモコンの「Back」ボタンを押します。



i メニューシステム内の位置によっては、ルーティング画面に戻るまでに何度も「Back」ボタンを押す場合があります。

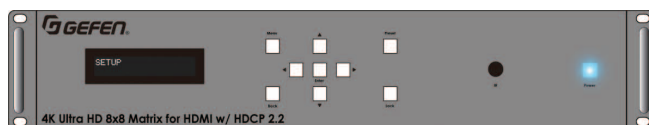
● Setup > HPD Control

選択した入力に HPD (Hot-Plug Detect) パルスを送信することができます。入力に HPD パルスを送ることは、ソース機器に接続しているケーブルを物理的に挿し直す動作と同じです。

①ルーティング画面に進みます。ルーティング画面が表示されない場合、表示されるまでフロントパネルまたは IR リモコンの「Back」ボタンを押します。

OUT A : OUTPUT A
A/W IN: INPUT 01

②フロントパネルまたは IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。操作するとボタンは青く点滅します。



③「Setup」メニューが表示されます。

SETUP

④フロントパネルの「Enter」ボタンを押します。付属の IR リモコンを使用する場合は「OK」ボタンを押します。

⑤「HPD Control」オプションが表示されます。

SETUP:
HPD CONTROL

⑥フロントパネルの「Enter」ボタンを押します。付属の IR リモコンを使用する場合は「OK」ボタンを押します。

⑦入力選択画面が表示されます。デフォルトでは入力 1 が表示されます。

HPD CONTROL:
PULSE: INPUT 01

⑧フロントパネルまたは IR リモコンの▲または▼ボタンを押して入力を選択します。操作するとボタンは青く点滅します。

⑨入力を選択したら、フロントパネルの「Enter」ボタンを押します。付属の IR リモコンを使う場合、「OK」ボタンを押します。

HPD PULSED FOR INPUT
INPUT 05

⑩選択した入力に HD パルスが送られます。入力をルーティングしている出力にディスプレイを接続している場合、HPD パルスを受けるとディスプレイは点滅します。

⑪しばらくすると入力選択画面が表示されます。

HPD CONTROL:
PULSE: INPUT 05

⑫手順④～⑦を繰り返し、他の入力に HPD パルスを送ります。

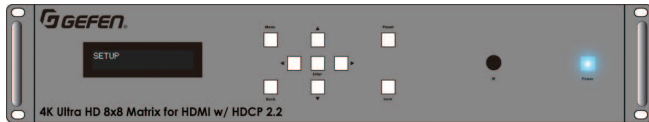
⑬「HPD Control」オプションに戻るには、フロントパネルまたは IR リモコンの「Back」ボタンを押します。

⑭ルーティング画面に戻るには、さらに「Back」ボタンを 2 度押します。

● Setup > HDCP Control

入力に対応する HDCP バージョンを制限できます。なお、本機は最大 HDCP 2.2 まで対応します。

- ①ルーティング画面に進みます。ルーティング画面が表示されない場合、表示されるまでフロントパネルまたは IR リモコンの「Back」ボタンを押します。
- ②フロントパネルまたは IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。操作すると青く点滅します。



- ③「Setup」メニューが表示されます。



- ④フロントパネルの「Enter」ボタンを押します。付属の IR リモコンを使用する場合は「OK」ボタンを押します。
- ⑤「HPD Control」オプションが表示されます。



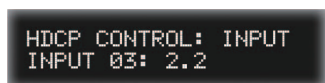
- ⑥フロントパネルまたは IR リモコンの▲または▼ボタンを押して、「HDCP Control」オプションを選択します。



- ⑦フロントパネルまたは IR リモコンの「Enter」ボタンを押して、入力操作画面を表示します。



- ⑧フロントパネルまたは付属の IR リモコンの▲または▼ボタンを押して、入力または出力を選択します。これらのボタンは押すと青く点滅します。



- ⑨フロントパネルの「Enter」ボタンを押します。付属の IR リモコンを使用する場合は「OK」ボタンを押します。

入力（1～8）を選択すると下記オプションが表示されます。

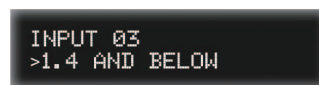
- ▼ **2.2 and below**
HDCP バージョン 2.2 以下に対応します。
- ▼ **1.4 and below**
HCP バージョン 1.4 以下に対応します。
- ▼ **Reject**
HDCP コンテンツをブロックします。

出力（A～H）が選択されると、下記オプションが表示されます。

- ▼ **Follow Input**
HDCP をバススルー：入力信号をそのまま出力します。
 - ▼ **Always Encode**
出力には常時 HDCP 暗号化をかけます。ソース機器が HDCP に対応しなくても、出力段では HDCP がかけられます。
- ⑩入力または出力を選択したら、フロントパネルの「Enter」ボタンを押すが、IR リモコンの「OK」ボタンを押します。選択している入力または出力の横に矢印カーソルが表示されます。



- ⑪フロントパネルまたは IR リモコンの▲または▼ボタンを押して、設定を選択します。



- ⑫フロントパネル「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押して、設定を保存します。

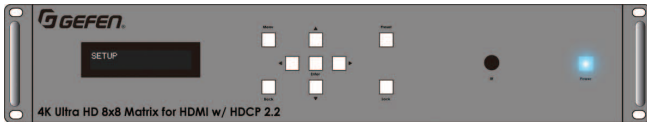


- ⑬異なる入力または出力の HDCP 設定を行う場合、フロントパネルまたは IR リモコンの「Back」ボタンを押します。
- ⑭「HPD Control」に戻るには、フロントパネルまたは IR リモコンの「Back」ボタンを押します。
- ⑮「Back」ボタンを 2 回押して、ルーティング画面に戻ります。

● EDID Management > EDID Mode

各入力に接続しているソース機器に使用する EDID を設定します。「Internal」、「external」または「custom」EDID から選択できます。

- ① ルーティング画面に進みます。ルーティング画面が表示されていない場合、ルーティング画面が表示されるまでフロントパネルまたは IR リモコンの「Back」ボタンを押します。
- ② フロントパネルまたは IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。操作すると青く点滅します。



- ③ 「Setup」メニューが表示されます。



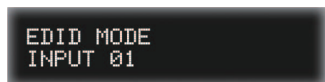
- ④ フロントパネルまたは IR リモコンの▲または▼ボタンを押して、「EDID Management」メニューを選択します。



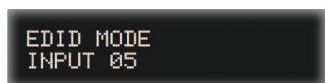
- ⑤ フロントパネルの「Enter」ボタンを押します。付属の IR リモコンを使用する場合は「OK」ボタンを押します。
- ⑥ 「EDID Mode」メニューが表示されます。



- ⑦ フロントパネルまたは IR リモコンの「Enter」ボタンを押すと、入力操作画面が表示されます。デフォルトで入力 1 が表示されます。



- ⑧ フロントパネルまたは IR リモコンの▲または▼ボタンを押して、入力を選択します。



- ⑨ フロントパネルの「Enter」ボタンを押します。付属の IR リモコンを使用する場合は「OK」ボタンを押します。
- ⑩ EDID 選択画面が表示されます。選択している入力の EDID が表示されます。現在の EDID の横に矢印カーソルが表示され、EDID を変更できることを表します。



- ⑪ フロントパネルまたは IR リモコンの▲または▼ボタンを押して、EDID を選択します。詳しくは 46 ページの「内部 EDID プロフィール」を参照してください。

各入力に対応する EDID オプションは以下の通りです。

EDID	説明
Internal-720p 2Ch	720p、2ch オーディオ
Internal-720p Multi	720p、マルチチャンネルオーディオ
Internal-1080p 2Ch	1080p、2ch オーディオ
Internal-1080p Multi	1080p、マルチチャンネルオーディオ
Internal-4K 2Ch	4K Ultra HD、2ch オーディオ
Internal-4K Multi	4K Ultra HD、マルチチャンネルオーディオ
External	EDID パススルー
Custom	カスタム EDID

詳しくは 29 ページ「EDID モードの設定」を参照してください。

- ⑫ EDID を選択したら、フロントパネルの「Enter」ボタンまたは付属の IR リモコンの「OK」ボタンを押します。入力選択画面が表示されます。



- ⑬ 手順⑧～⑫を繰り返し、他の入力の EDID を設定します。

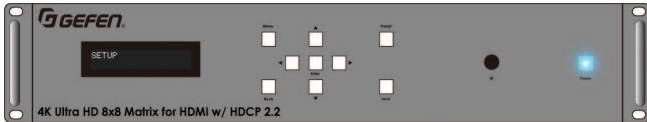
- ⑭ フロントパネルまたは IR リモコンの「Back」ボタンを押して、「EDID Mode」メニューに戻ります。

- ⑮ ルーティング画面に戻るには、「Back」ボタンを 2 回押します。

● Network > IP Settings

このメニューにより、本機の IP モード、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイと HTTP ポートを設定します。

- ① ルーティング画面に進みます。ルーティング画面が表示されない場合、ルーティング画面が表示されるまでフロントパネルまたは IR リモコンの「Back」ボタンを押します。
- ② フロントパネルまたは IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。「Menu」ボタンを押すと、一時的に青く点滅します。



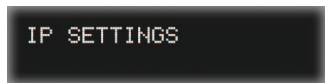
- ③ 「Setup」メニューが表示されます。



- ④ フロントパネルまたは IR リモコンの▲または▼ボタンを押して、「Network」メニューを選択します。



- ⑤ フロントパネルの「Enter」ボタンを押します。付属の IR リモコンを使う場合、「OK」ボタンを押します。
- ⑥ 「IP Settings」メニューが表示されます。



- ⑦ フロントパネル「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押して、IP モード画面を表示します。現在のネットワークモードが表示されます。

▼ IP モードの設定

- a. 「IP Mode」画面からフロントパネル「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタン⇒「Enter」ボタンを押します。現在の IP モードの横に矢印カーソルが表示され、IP モードを変更できることを表します。



- b. フロントパネルまたは IR リモコンの▲または▼ボタンを押して、IP モードを選択します。

・ Static モード

IP アドレス、サブネットマスクとゲートウェイの構成を任意に変更できます。

・ DHCP モード

IP アドレス、サブネットマスクとゲートウェイアドレスは DHCP サーバから自動的に割り当てられます。

- c. フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押して、行われた変更を保存します。
- d. 本機を再起動して、変更を有効にします。

▼ IP アドレスを設定

- a. 「IP Mode」画面から、フロントパネルまたは IR リモコンの▲または▼ボタンを押して、「IP Address」を選択します。現在の IP アドレスが表示されます。



- b. フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押して、IP アドレスを編集します。

IP モードが「Static」に設定されている時のみ IP アドレスを変更できます。

- c. カーソルは IP アドレスの最初の桁に表示されます。



- d. フロントパネルまたは IR リモコンの▲または▼ボタンを押して、アドレス値を変更します (0～9)。



- e. フロントパネルまたは IR リモコンの◀または▶ボタンを押して、変更するアドレスの桁を移動します。

- f. IP アドレスを設定したら、フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押して変更を保存します。



- g. 本体を再起動して変更を有効にします。

▼ サブネットマスクを設定

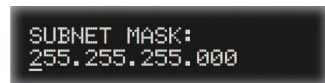
- a. 「IP Mode」画面から、フロントパネルまたは IR リモコンの▲または▼ボタンを押して「Subnet Mask」を選択します。現在のサブネットマスクが表示されます。



- b. フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押して、IP アドレスを編集します。

IP モードが「Static」に設定されている時のみサブネットマスクを変更できます。

- c. アドレスの最初の桁にカーソルが表示されます。



- d. フロントパネルまたは IR リモコンの▲または▼ボタンを押して、アドレス値を変更します (0～9)。



- e. アドレスを設定したら、フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押して、行われた変更を保存します。



- f. 本機を再起動して変更を有効にします。

▼ゲートウェイを設定

- a. 「IP Mode」画面から、フロントパネルまたはIRリモコンの▲または▼ボタンを押して「Gateway」を選択します。現在のゲートウェイアドレスが表示されます。

```
GATEWAY:
192.168.001.001
```

- b. フロントパネルの「Enter」ボタンまたはIRリモコンの「OK」ボタンを押して、アドレスを編集します。



IPモードが「Static」に設定されている時のみゲートウェイアドレスは変更できません。

- c. アドレスの最初の桁にカーソルが表示されます。

```
GATEWAY:
_192.168.001.001
```

- d. フロントパネルまたはIRリモコンの▲または▼ボタンを押して、アドレス値を変更します (0～9)。

```
GATEWAY:
_092.168.001.001
```

- e. フロントパネルまたはIRリモコンの◀または▶ボタンを押して、変更するアドレスの桁を移動します。

- f. IPアドレスを設定したら、フロントパネルの「Enter」ボタンまたはIRリモコンの「OK」ボタンを押して変更を保存します。

```
GATEWAY:
010.005.064.001
```

- g. 本機を再起動して変更を有効にします。

▼HTTP リスニングポートを設定

- a. 「IP Mode」画面から、フロントパネルまたはIRリモコンの▲または▼ボタンを押して、「HTTP Port」を選択します。現在のHTTPポートが表示されます。

```
HTTP PORT:
80
```

- b. フロントパネルの「Enter」ボタンまたはIRリモコンの「OK」ボタンを押して、ポート番号を編集します。カーソルはポート番号の最初の桁に表示されます。

```
HTTP PORT:
_00080
```

- c. フロントパネルまたはIRリモコンの▲または▼ボタンを押して、アドレス値を変更します (0～9)。

- d. フロントパネルまたはIRリモコンの◀または▶ボタンを押して、変更するポート番号の桁を移動します。

- e. ポートを設定したら、フロントパネルの「Enter」ボタンまたはIRリモコンの「OK」ボタンを押して、行われた変更を保存します。

```
HTTP PORT:
81
```

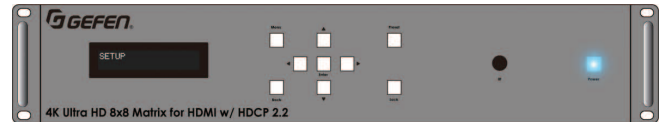
- f. 本機を再起動して変更を有効にします。

● Network > TCP / Telnet Settings

TCP アクセス、TCP ポート、Telnet ウェルカムメッセージ、パスワードログインの有効 / 無効を設定します。

- ① ルーティング画面に進みます。ルーティング画面が表示されない場合、ルーティング画面が表示されるまでフロントパネルまたはIRリモコンの「Back」ボタンを押します。

- ② フロントパネルまたはIRリモコンの「Menu」ボタンを押します。「Menu」ボタンは押すと青く点滅します。



- ③ 「Setup」メニューが表示されます：

```
SETUP
```

- ④ フロントパネルまたはIRリモコンの▲または▼ボタンを押して、「Network」メニューを選択します。

```
NETWORK
```

- ⑤ フロントパネルの「Enter」ボタンを押します。付属のIRリモコンを使用する場合、「OK」ボタンを押します。

- ⑥ フロントパネルまたはIRリモコンの▲または▼ボタンを押して、「TCP/Telnet Settings」メニューを選択します。

```
TCP/TELNET SETTINGS
```

- ⑦ フロントパネルの「Enter」ボタンまたはIRリモコンの「OK」ボタンを押して、TCP アクセス画面を表示します。現在の設定が表示されます。

▼TCP (Telnet) アクセスを有効 / 無効

- a. TCP アクセス画面から、フロントパネルの「Enter」ボタンまたはIRリモコンの「OK」ボタンを押します。

```
TCP ACCESS:
ENABLED
```

- b. フロントパネルの「Enter」ボタンまたはIRリモコンの「OK」ボタンを押して、現在の設定を変更します。現在の設定の横に矢印カーソルが表示され、設定を変更できることを表します。

```
TCP ACCESS:
>ENABLED
```

- c. フロントパネルまたはIRリモコンの▲または▼ボタンを押して、設定を選択します。

• Enabled

マトリクス of Telnet セッションを有効にする。

• Disabled

マトリクス of Telnet セッションを無効にする。

```
TCP ACCESS:
>DISABLED
```


- d. フロントパネルの「Enter」ボタンまたはIRリモコンの「OK」ボタンを押して、行われた変更を保存します。

```
TCP ACCESS:
DISABLED
```

- e. 本機を再起動して変更を有効にします。

▼TCP リスニングポートを設定

- a. TCP アクセス画面から、フロントパネルまたはIRリモコンの▲または▼ボタンを押して、「TCP Port」を選択します。現在のTCPポートが表示されます。

```
TCP PORT:
23
```

- b. フロントパネルの「Enter」ボタンまたはIRリモコンの「OK」ボタンを押して、ポート番号を編集します。カーソルはポート番号の最初の桁に表示されます。

```
TCP PORT:
00023
```

- c. フロントパネルまたはIRリモコンの◀または▶ボタンを押して、変更するポート番号の桁を移動します。

- d. フロントパネルまたはIRリモコンの▲または▼ボタンを押して、アドレス値を変更します (0～9)。

```
TCP PORT:
00023
```

- e. ポート番号を設定したら、フロントパネルの「Enter」ボタンまたはIRリモコンの「OK」ボタンを押して、行われた変更を保存します。

```
TCP PORT:
00024
```

- f. 本機を再起動して変更を有効にします。

▼Telnet ウェルカムメッセージを有効 / 無効

- a. TCP アクセス画面から、フロントパネルまたはIRリモコンの▲または▼ボタンを押して、「Login on Connect」を選択します。現在の設定が表示されます。なお、デフォルト設定は有効「ENABLED」です。

```
LOGIN ON CONNECT:
ENABLED
```

- b. フロントパネルの「Enter」ボタンまたはIRリモコンの「OK」ボタンを押して、現在の設定を変更します。現在の設定の横にカーソルが表示されます。

```
LOGIN ON CONNECT:
>ENABLED
```

- c. フロントパネルまたはIRリモコンの「▲」または「▼」ボタンを押して、設定を選択します。

- Enabled
各 Telnet セッションの開始時にウェルカムメッセージを表示します。
- Disabled
Telnet セッションの開始時にウェルカムメッセージを非表示します。

- d. フロントパネルの「Enter」ボタンまたはIRリモコンの「OK」ボタンを押して、行われた変更を保存します。

- e. 本機を再起動して変更を有効にします。

▼パスワードの有効 / 無効

- a. TCP アクセス画面から、フロントパネルまたはIRリモコンの▲または▼ボタンを押して、「Require Password」を選択します。現在の設定が表示されます。

```
REQUIRE PASSWORD:
DISABLED
```

- b. フロントパネルの「Enter」ボタンまたはIRリモコンの「OK」ボタンを押して、設定を編集します。現在の設定の横にカーソルが表示されます。

```
REQUIRE PASSWORD:
>DISABLED
```

- c. フロントパネルまたはIRリモコンの▲または▼ボタンを押して、設定を選択します。

- Enabled
各 Telnet セッションの開始時にログインを要求します。
- Disabled
Telnet セッションのログインを要求しません。

詳しくは28ページの「ネットワーク設定の構成」を参照してください。

```
REQUIRE PASSWORD:
>ENABLED
```

- d. フロントパネルの「Enter」ボタンまたはIRリモコンの「OK」ボタンを押して、行われた変更を保存します。

```
REQUIRE PASSWORD:
ENABLED
```

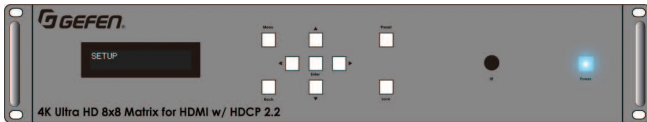
- e. 本機を再起動して変更を有効にします。

● Network > UDP Settings

このメニューにより、UDP アクセスの有効 / 無効、UDP ポート、UDP リモートアクセス、リモート UDP の IP アドレスを設定します。

① ルーティング画面に進みます。ルーティング画面が表示されない場合、ルーティング画面が表示されるまでフロントパネルまたは IR リモコンの「Back」ボタンを押します。

② フロントパネルまたは IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。「Menu」ボタンを押すと、一時的に青く点滅します。



③ 「Setup」メニューが表示されます。



④ フロントパネルまたは IR リモコンの▲または▼ボタンを押して、「Network」メニューを選択します。



⑤ フロントパネルの「Enter」ボタンを押します。付属の IR リモコンを使用する場合、「OK」ボタンを押します。

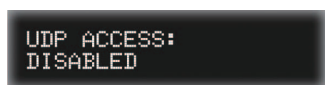
⑥ フロントパネルまたは IR リモコンの▲または▼ボタンを押して、「UDP Settings」メニューを選択します。



⑦ フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押して、UDP アクセス画面を表示します。現在の設定が表示されます。

▼ UDP アクセスを有効 / 無効

a. UDP アクセス画面から、フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押します。現在の設定の横に矢印カーソルが表示され、設定を変更できることを表します。



b. フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押して、設定を変更します。カーソルは現在の設定の横に表示されます。

c. フロントパネルまたは IR リモコンの▲または▼ボタンを押して、設定を選択します。

- Enabled

本機は UDP プロトコルを使用できます。

- Disabled

本機は UDP プロトコルを使用できません。



d. フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押して、行われた変更を保存します。



e. 本体を再起動して変更を有効にします。

▼ UDP リスニングポートを設定

a. UDP アクセス画面から、フロントパネルまたは IR リモコンの▲または▼ボタンを押して、「UDP Port」を選択します。現在の UDP ポートが表示されます。



b. フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押して、ポート番号を編集します。カーソルはポート番号の最初の桁に表示されます。



c. フロントパネルまたは IR リモコンの◀または▶ボタンを押して、変更するポート番号の桁を移動します。

d. フロントパネルまたは IR リモコンの▲または▼ボタンを押して、アドレス値を変更します (0 ~ 9)。



e. ポート番号を設定したら、フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押して、行われた変更を保存します。



f. 本体を再起動して、変更を有効にします。

▼ リモート UDP アクセスを有効 / 無効

a. UDP アクセス画面から、フロントパネルまたは IR リモコンの▲または▼ボタンを押して、「Remote UDP Access」を選択します。現在の設定が表示されます。



b. フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押して、設定を変更します。カーソルは現在の設定の横に表示されます。



C. フロントパネルまたは IR リモコンの「▲」または「▼」ボタンを押して、設定を選択します。

• **Enabled**

本機はリモート UDP プロトコルを使用できます。

• **Disabled**

本機はリモート UDP プロトコルを使用できません。

```
REMOTE UDP ACCESS:
>ENABLED
```

d. フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押して、行われた変更を保存します。

```
REMOTE UDP ACCESS:
ENABLED
```

e. 本体を再起動して変更を有効にします。

▼ **リモート UDP アドレスを設定**

a. UDP アクセス画面から、フロントパネルまたは IR リモコンの▲または▼ボタンを押して、「Remote UDP Access」を選択します。現在の UDP アドレスが表示されます。

```
REMOTE UDP ADDRESS:
192.168.001.255
```

b. フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押して、IP アドレスを編集します。

c. カーソルは UDP アドレスの最初の桁に表示されます。

```
REMOTE UDP ADDRESS:
192.168.001.255
```

d. フロントパネルまたは IR リモコンの▲または▼ボタンを押して、アドレス値を変更します (0 ~ 9)。

```
REMOTE UDP ADDRESS:
192.168.001.155
```

e. フロントパネルまたは IR リモコンの◀または▶ボタンを押して 変更するアドレスの桁を移動します。

f. UDP アドレスを設定したら、フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押して、行われた変更を保存します。

```
REMOTE UDP ADDRESS:
192.168.001.155
```

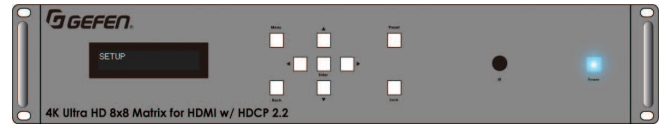
g. 本体を再起動して変更を有効にします。

● **Network > Discovery Settings**

ディスカバリー機能の有効 / 無効を設定します。

① ルーティング画面に進みます。ルーティング画面が表示されない場合、ルーティング画面が表示されるまでフロントパネルまたは IR リモコンの「Back」ボタンを押します。

② フロントパネルまたは IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。「Menu」ボタンを押すと、一時的に青く点滅します。



② 「Setup」メニューが表示されます。

```
SETUP
```

③ フロントパネルまたは IR リモコンの▲または▼ボタンを押して、「Network」メニューを選択します。

```
NETWORK
```

④ フロントパネルの「Enter」ボタンを押します。付属の IR リモコンを使用する場合、「OK」ボタンを押します。

⑤ フロントパネルまたは IR リモコンの▲または▼ボタンを押して、「Discovery Settings」メニューを選択します。

```
DISCOVERY SETTINGS
```

⑥ フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押すと、「Discovery」画面に現在の設定が表示されます。

⑦ フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押すと設定を変更できます。現在の設定の横にカーソルが表示されます。

```
DISCOVERY:
>ENABLED
```

⑧ フロントパネルまたは IR リモコンの▲または▼ボタンを押して、設定を選択します。

Enabled

本機をネットワーク接続している場合、Syner-G Software Suite から検出できます。

Disabled

本機をネットワークに接続していても、Syner-G Software Suite から検出できません。

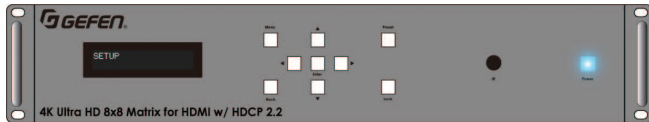
⑨ フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押して変更を保存します。

⑩ 本体を再起動して変更を有効にします。

● System > RS-232 Feedback

RS-232 フィードバックの有効 / 無効を設定します。無効にした場合、RS-232 コマンドは実行されますが、レスポンスはありません。

- ①ルーティング画面に進みます。ルーティング画面が表示されない場合は、表示されるまでフロントパネルまたは IR リモコンの「Back」ボタンを押してください。
- ②フロントパネルまたは IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。押すとフロントパネルの「Menu」ボタンが一瞬点灯します。



- ③「Setup」メニューが表示されます。



- ④フロントパネルまたは IR リモコンの▲▼ボタンを押して「System」メニューを選択します。



- ⑤フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押します。
- ⑥フロントパネルまたは IR リモコンの▲▼ボタンを押して「RS-232 Feedback」メニューを選択します。



- ⑦フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押して、設定を変更します。カーソルは現在の設定の横に表示されます。



- ⑧フロントパネルまたは IR リモコンの▲▼ボタンを押して選択します。

- Enabled
RS-232 コマンドを実行した際にレスポンスを返します。
- Disabled
RS-232 コマンドを実行しますがレスポンスはありません。



- ⑨フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押して、変更を保存します。

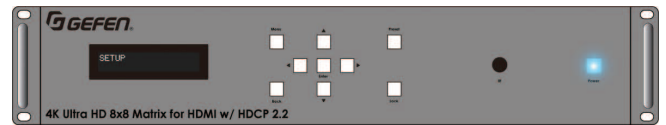


- ⑩本体を再起動して変更を有効にします。

● System > LCD Brightness

フロントパネルの液晶ディスプレイの輝度を設定します。

- ①ルーティング画面に進みます。ルーティング画面が表示されない場合は、表示されるまでフロントパネルまたは IR リモコンの「Back」ボタンを押してください。
- ②フロントパネルまたは IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。押すとフロントパネルの「Menu」ボタンが一瞬点灯します。



- ③「Setup」メニューが表示されます。



- ④フロントパネルまたは IR リモコンの▲▼ボタンを押して「System」メニューを選択します。



- ⑤フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押します。
- ⑥フロントパネルまたは IR リモコンの▲▼ボタンを押して「LCD Brightness」メニューを選択します。現在の設定が表示されます。



- ⑦フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押して、設定を変更します。カーソルは現在の設定の横に表示されます。



- ⑧フロントパネルまたは IR リモコンの▲▼ボタンを押して選択します。0 から 100 の間を、1 ステップで設定できます。



- ⑨フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押して、変更を保存します。

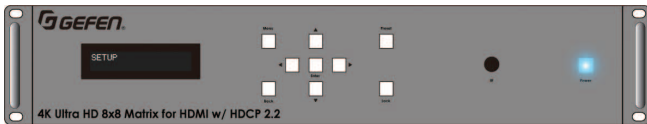


- ⑩本体を再起動して変更を有効にします。

● System > IR Channel

本体の IR チャンネルを設定します。付属の IR リモコンを使用するためには本体と同じチャンネルに設定する必要があります。詳しくは 6 ページ「IR チャンネルの設定」を参照してください。

- ①ルーティング画面に進みます。ルーティング画面が表示されない場合は、表示されるまでフロントパネルまたは IR リモコンの「Back」ボタンを押してください。
- ②フロントパネルまたは IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。押すとフロントパネルの「Menu」ボタンが一瞬点灯します。



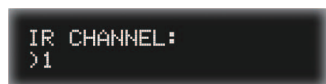
- ③「Setup」メニューが表示されます。



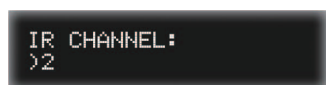
- ④フロントパネルまたは IR リモコンの▲▼ボタンを押して「System」メニューを選択します。



- ⑤フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押します。
- ⑥フロントパネルまたは IR リモコンの▲▼ボタンを押して「IR Channel」メニューを選択します。現在の設定が表示されます。
- ⑦フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押して、IR チャンネルを変更します。カーソルは現在の設定の横に表示されます。



- ⑧フロントパネルまたは IR リモコンの▲▼ボタンを押して希望のチャンネルを選択します。IR チャンネルは 1 ~ 4 です。



- ⑨フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押して、変更を保存します。

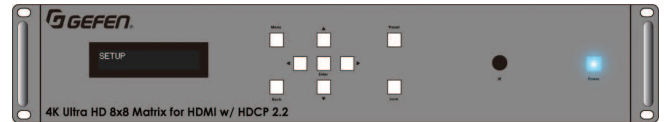


- ⑩本体を再起動して変更を有効にします。

● System > Factory Reset

本機を工場出荷時の初期設定に戻します。詳しくは 46 ページ「デフォルト設定」を参照してください。

- ①ルーティング画面に進みます。ルーティング画面が表示されない場合は、表示されるまでフロントパネルまたは IR リモコンの「Back」ボタンを押してください。
- ②フロントパネルまたは IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。押すとフロントパネルの「Menu」ボタンが一瞬点灯します。



- ③「Setup」メニューが表示されます。



- ④フロントパネルまたは IR リモコンの▲▼ボタンを押して「System」メニューを選択します。



- ⑤フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押します。
- ⑥フロントパネルまたは IR リモコンの▲▼ボタンを押して「Factory Reset」メニューを選択します。現在の設定が表示されます。



- ⑦フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押すと確認画面が表示されます。



- ⑧フロントパネルまたは IR リモコンの▲▼ボタンを押して「Yes」か「No」を選択します。

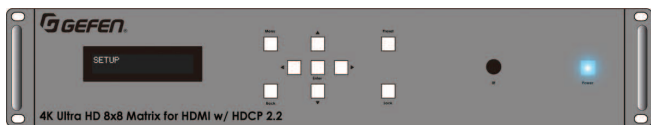


- ⑨フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押して、変更を保存します。「Yes」を選択するとファクトリーリセットが実行され、本体は自動的に再起動します。

● System > Reboot

本体を再起動します。

- ①ルーティング画面に進みます。ルーティング画面が表示されない場合は、表示されるまでフロントパネルまたは IR リモコンの「Back」ボタンを押してください。
- ②フロントパネルまたは IR リモコンの「Menu」ボタンを押します。押しすとフロントパネルの「Menu」ボタンが一瞬点灯します。



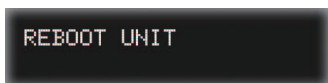
- ③「Setup」メニューが表示されます。



- ④フロントパネルまたは IR リモコンの▲▼ボタンを押して「System」メニューを選択します。



- ⑤フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押します。
- ⑥フロントパネルまたは IR リモコンの▲▼ボタンを押して「Reboot Unit」メニューを選択します。現在の設定が表示されます。



- ⑦フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押すと確認画面が表示されます。



- ⑧フロントパネルまたは IR リモコンの▲▼ボタンを押して「Yes」または「No」を選択します。



- ⑨フロントパネルの「Enter」ボタンまたは IR リモコンの「OK」ボタンを押して選択を確定します。「Yes」を選択すると本体は自動的に再起動します。

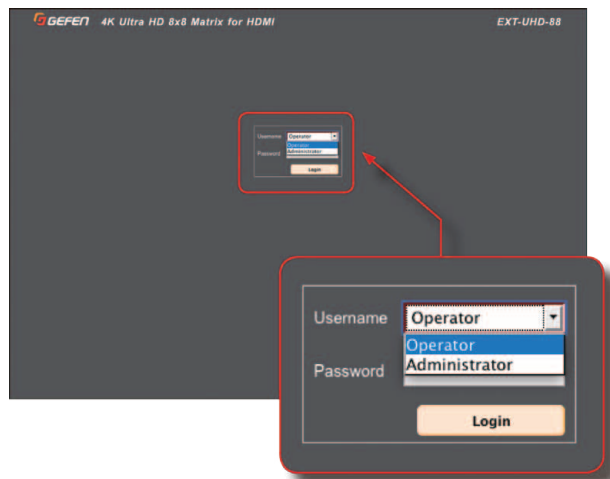
■ウェブインターフェース

●ウェブインターフェースについて

EXT-UHD-88 にはウェブインターフェースが内蔵されています。ウェブインターフェースを使用することで、本機が搭載している機能を簡単に管理できます。

▼ログイン方法

- ①ウェブブラウザを起動します。
- ②アドレスバーに本機の IP アドレスを入力します。
- ③ログインページが表示されます。
- ④「Username」ドロップダウンリストからユーザを選択します。



・ Operator

「Operator」でログインすると、ウェブインターフェースへのアクセスは制限されます。アクセス可能なタブは「Routing」と「Status」のみです。本体のロック / ロック解除は可能です。

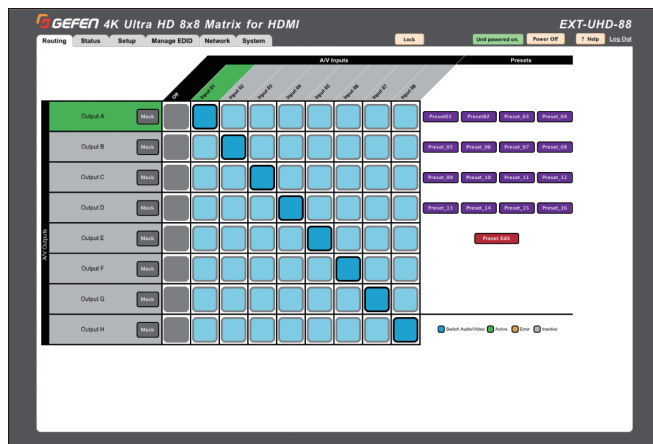
デフォルトパスワードは「Operator」です。パスワードは大文字と小文字を区別します。詳しくは 32 ページの「ネットワーク設定の構成」を参照してください。

・ Administrator

「Administrator」でログインすると、ウェブインターフェースのすべての機能にアクセスできます。

デフォルトパスワードは「Admin」です。パスワードは大文字と小文字を区別します。詳しくは 32 ページの「ネットワーク設定の構成」を参照してください。

- ⑤選択したユーザーのパスワードを入力します。
- ⑥「Login」ボタンをクリックします。
- ⑦暫くすると、「Routing」タブが表示されます。



▼ Administrator と Operator の比較

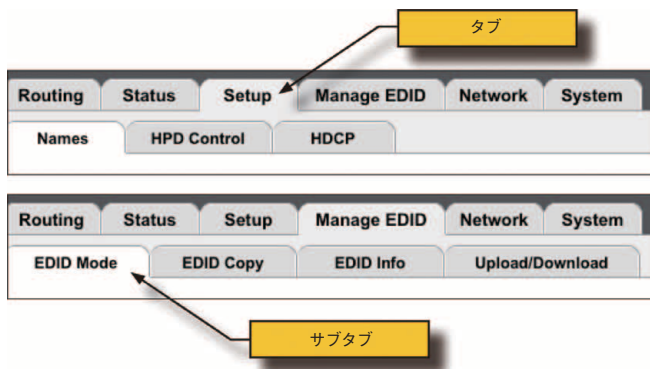
「Administrator」と「Operator」ではアクセス可能な機能が異なります。詳細は以下を参照してください。

Administrator	Operator
・全ての機能にアクセス可能	・アクセス可能なタブは「Routing」と「Status」のみ。 ・「Routing」タブには「Preset Edit」ボタンがありません。

▼タブとサブタブ

ウェブインターフェースの機能はタブで分かれており、画面上部のタブをクリックして、アクセスします。

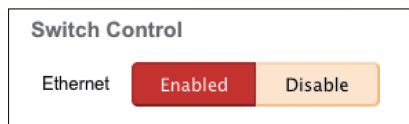
「Setup」と「Manage EDID」タブはさらにタブで分割されており、これをサブタブと呼びます。下記を参照してください。



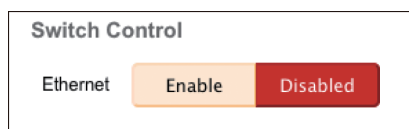
▼ボタン

画面によっては、特定のモードまたは設定を選択するボタンが含まれています。赤く表示されているボタンは設定がオン、薄い黄色ボタンは設定がオフになっていることを表します。

- ・ オンのとき

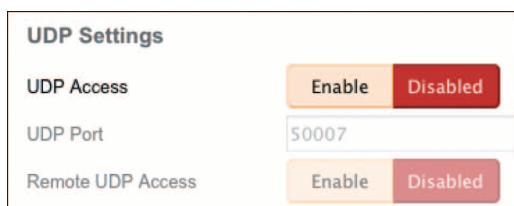


- ・ オフのとき



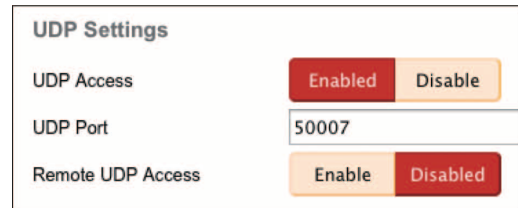
薄い黄色またはピンクで表示されているボタンは使用不可です。この場合は、サブタブを設定する以前にオンしなければならない機能があることを意味します。

例えば、以下の例では、「Remote UDP Access」ボタンと「UDP Port」フィールドはいずれも無効です。



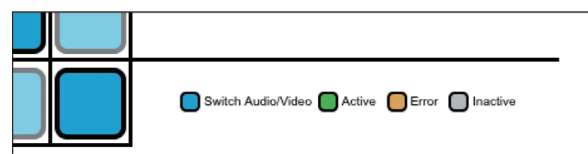
いずれかの設定を変更するには、「UDP Access」をオンにする必要があります。

「UDP Access」横の「Enable」ボタンをクリックすると、ボタンは赤くなり「Enabled」に変わります。「UDP Access」が有効になり、「Remote UDP Access」の有効/無効や、UDPポート番号を変更することができます。



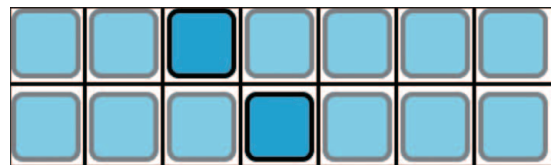
▼凡例

画面の右下コーナーに表示されている入出力の状況を色で示します。



■ オーディオとビデオの切替

ダークブルーの四角形はどの入力から出力へのルーティングを示します。シアンブルーの四角形の場合ルーティングされていません。詳しくは25ページ「入力のルーティングと出力のマスキング」を参照してください。

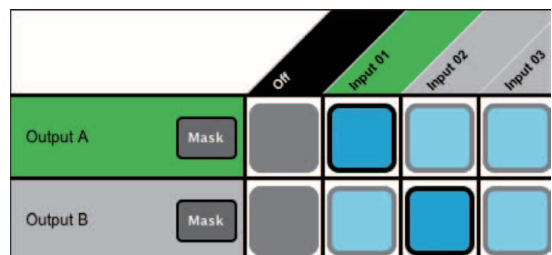


■ アクティブ

入力名または出力名が緑色にハイライトされている場合、アクティブなソースまたはシンクが接続されていることを示します。

■ インアクティブ

入力または出力に信号がないことを示します。



■ エラー

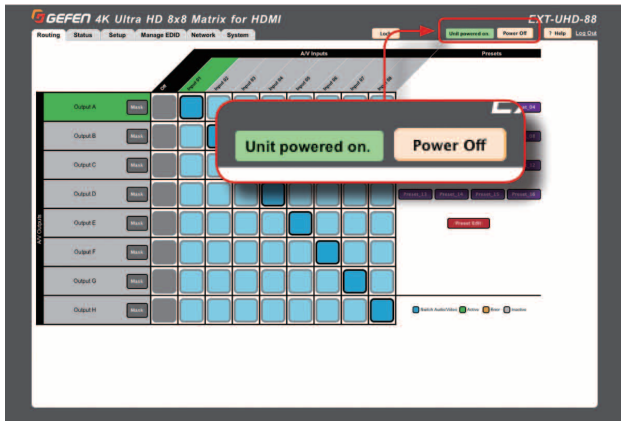
ソース機器やシンク機器のエラーを示します。



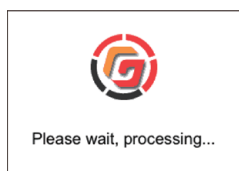
●電源の操作

本機の電源ステータス（ON または OFF）はウェブインターフェイスの「Power Off/Power On」ボタンに表示されます。

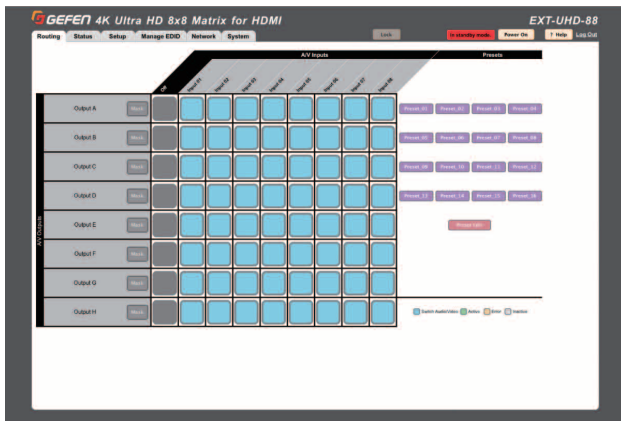
- ▼本機の電源がオンの場合は「Unit powered on」と表示され、「Power Off/Power On」ボタンは「Power Off」と表示されます。



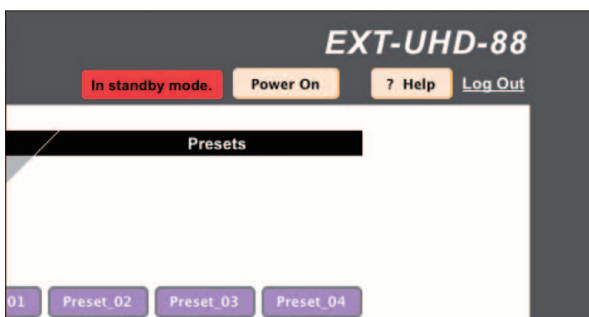
- ①「Power Off」ボタンをクリックして、本体の電源をオフにします。
- ②本体の電源をオフにすると下記メッセージボックスが表示されます。



- ③しばらくすると、ウェブインターフェイスが再度表示されます。



- ▼本機の電源がオフの場合、インジケータは赤くハイライトされ、以下のように「In Standby Mode」と表示され「Power Off/Power On」ボタンは「Power On」と表示されます。

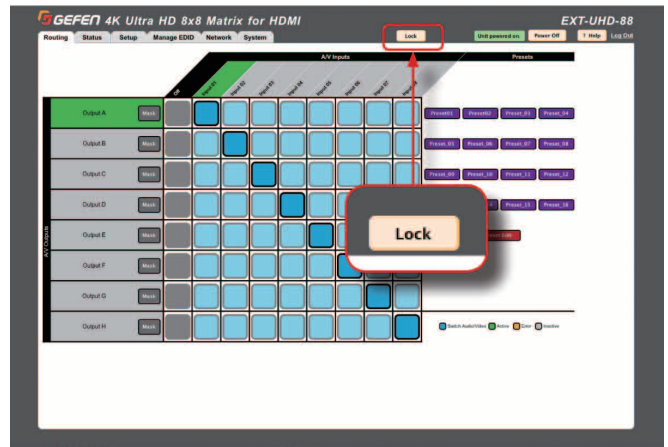


- ①「Power On」ボタンをクリックして、本体の電源をオンにします。
- ②再度メッセージボックス「Please wait, processing」が表示されます。しばらくするとウェブインターフェイスが再度表示されます。

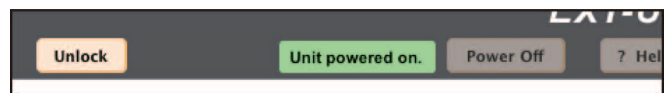
●本体のロック

本体のロックを実行すると、フロントパネルのボタンがロックでき、誤操作を防ぐことができます。

- ①「Routing」タブをクリックします。
- ②画面上部の「Lock」ボタンをクリックします。



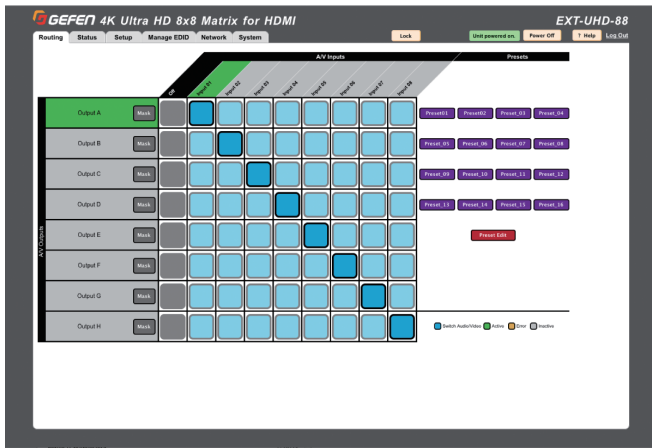
- ③「Lock」ボタンをクリックすると、ボタン表示は「Unlock」に変わり、フロントパネルの「Lock」ボタンは青く点灯します。本体はロックされました。
- ④「Unlock」ボタンをクリックしてロックを解除します。



- ⑤「Unlock」ボタンの表示は「Lock」に変わり、フロントパネルの「Lock」ボタンは消灯します。ロックは解除されました。

●ルーティング構成の表示

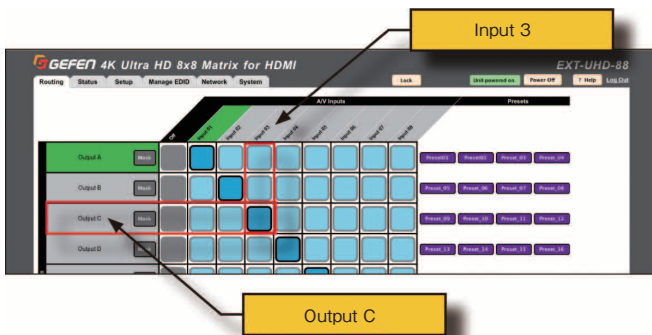
①「Routing」タブをクリックします。



②画面左側から出力を選択し、更にカーソルをその横にある入力と交差するルーティングインジケータ（濃い青の四角）に移動します。

③各縦列は入力を表しています。出力と入力名は変更できます。詳しくは 28 ページの「入出力名の変更」を参照してください。

例えば、下記イラストのように、入力 3 は出力 C にルートされます。



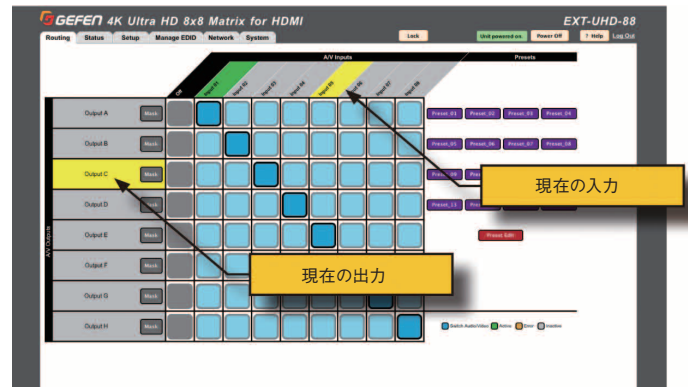
●入力のルーティングと出力のマスキング

▼入力のルーティング

①「Routing」タブをクリックします。

②画面左側から出力を選択します。例えば、出力 C を選択します。

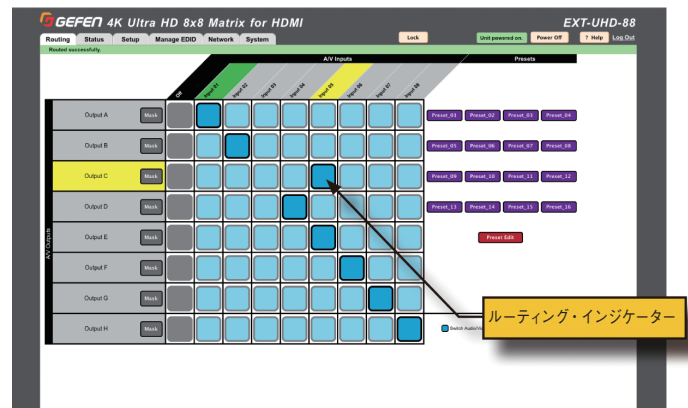
③出力の行でマウスを横移動すると、現在の出力（行）と入力（列）が黄色くハイライトされます。



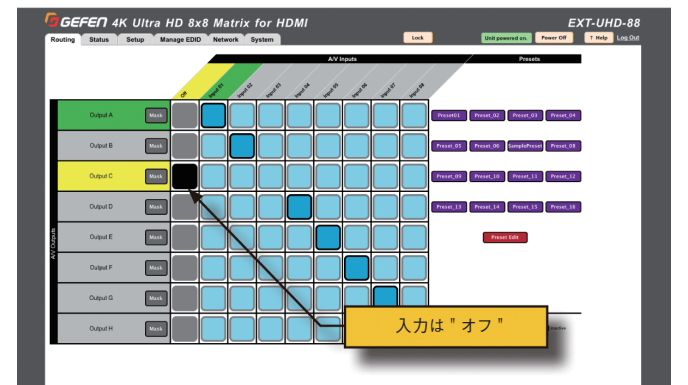
④入力をクリックします。入力名が記載されている列をガイドとして使って、入力を選択します。この例では、入力 5 を選択します。

⑤新しいルーティング構成はすぐに反映されます。

⑥現在の出力の行と入力列が交差するポイントにルーティングインジケータ（濃い青の四角）が表示されます。



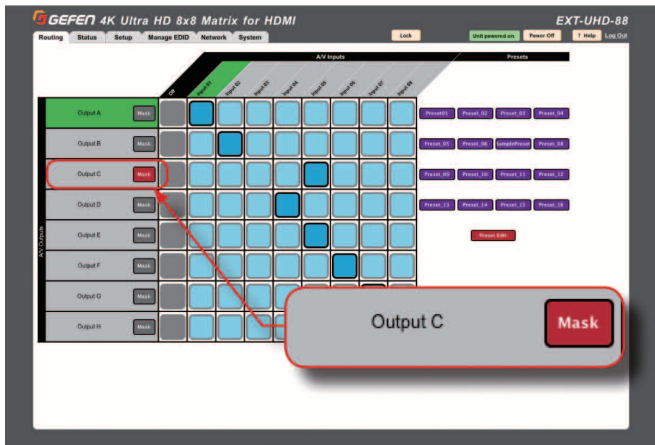
⑦入力をオンにするには、入力のルーティングインジケータが交差する同じ行にある濃い灰色の四角をクリックします。この例では、入力 5 は出力 C にルートされます。入力 5 のルーティングインジケータは出力 C と同じ行なので、出力 C の横にある濃い四角をクリックします。入力をオフにすると、灰色の四角は黒に変わります。



⑧入力をオンするには同じ行の入力をクリックします。入力を選択すると黒いボックスは消え入力アクティブになったことを表します。

▼出力のマスキング

- ①「Routing」タブをクリックします。
- ②「Mask」ボタンをクリックして、出力をマスクします。「Mask」ボタンは赤くなり、選択した出力がマスクされたことを表します。



- ③出力のマスキングを解除するには、再度「Mask」ボタンをクリックします。ボタンは黒に変わります。

▼出力のマスキングと入力オフとの比較

出力のマスキングと入力オフの違いは以下の通りです。

・入力オフ

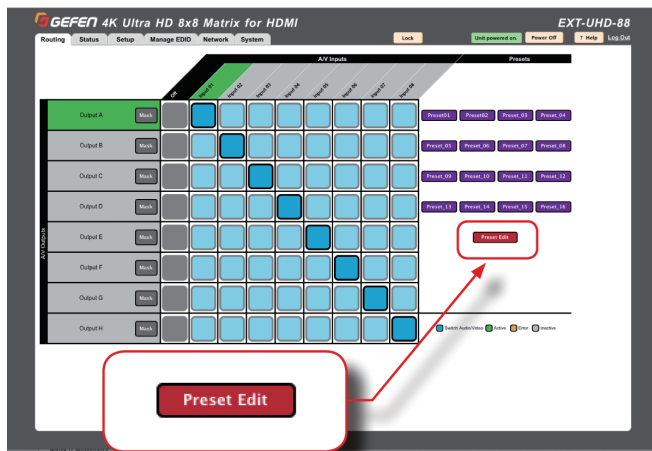
入力をオフにすると、信号はソースの段階でブロックされます。これは入力がルートされる全ての出力にマスキングを実行する効果と同じです。例えば入力2が出力A、出力Bと出力Cにルートされています。入力2をオフにすると、A/V信号は出力A、出力Bと出力Cのすべてで表示されなくなります。

・出力のマスキング

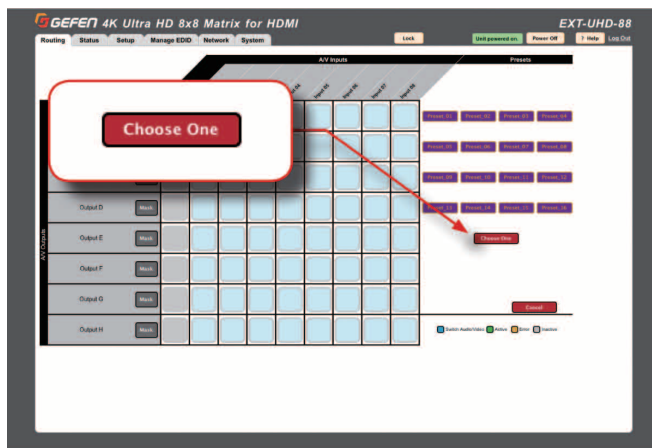
出力をマスクすると、信号は出力でブロックされます。例えば、入力2が出力A、出力Bと出力Cにルートされています。ここで出力Bをマスクすると、出力BのA/V信号のみがブロックされ、出力Aと出力Cは変わりません。

●プリセットの作成 / 編集

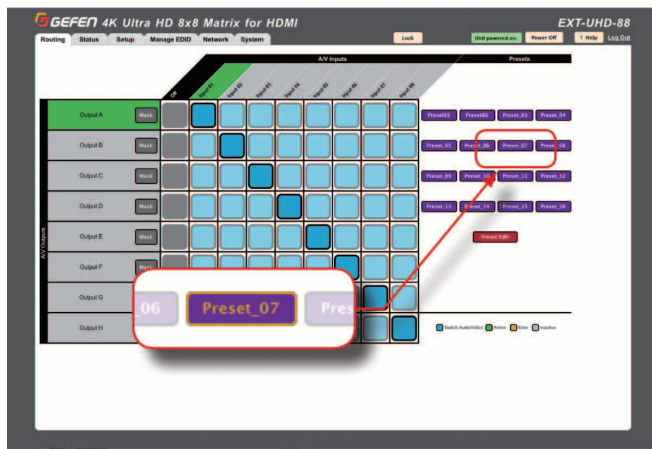
- ①「Routing」タブをクリックします。
- ②「Preset」セクション内の「Preset Edit」ボタンをクリックします。



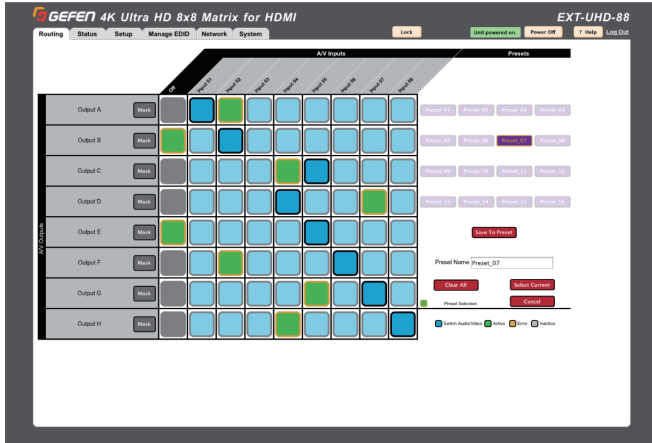
- ③画面が変わり、「Preset Edit」ボタンは「Choose One」と表示されます。



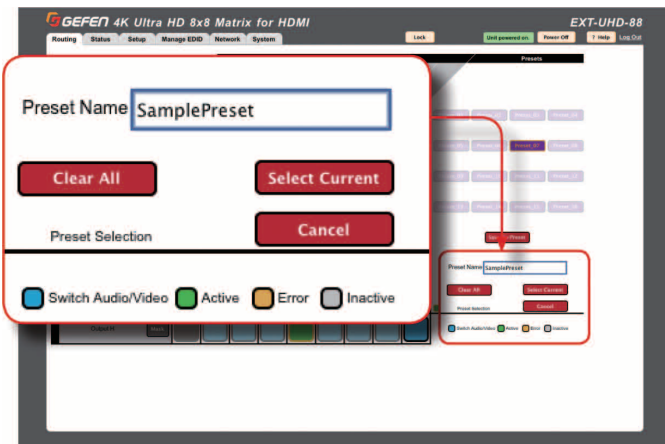
- ④編集するプリセットをクリックします。この例では、Preset_07を選択します。
- ⑤選択されたプリセットはハイライトされます。



⑥各入力 / 出力のルーティングを選択します。詳しくは25ページの「入力のルーティングと出力のマスキング」を参照してください。選択したプリセットの構成は、以下のように緑色の四角で表示されます。入力はオフに設定できます。濃い青の四角は現在のルーティング構成を表示します。



⑦入力 / 出力の構成を設定した後、「Preset Name」フィールドでプリセット名を変更します。



- > 現在のプリセットの構成をクリアするには、「Clear ALL」ボタンをクリックします。
- > 現在のルーティング構成（濃い青の四角）をプリセット構成として使用するには、「Select Current」ボタンをクリックします。
- > プリセット編集を中止するには、「Cancel」ボタンをクリックします。

⑧「Preset」ボタンをクリックして、プリセットを保存します。

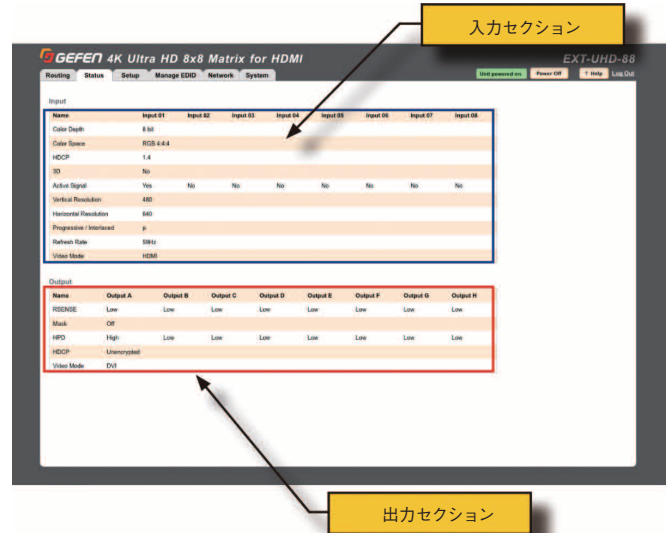
⑨手順2～8を繰り返し、各プリセットを作成します。

⑩プリセットを呼び出すには作成した「Preset」ボタンをクリックします。

●入出力の構成

全入出力の映像音声情報を表示します。

- ①内蔵ウェブインターフェイスの「Status」タブをクリックします。
- ②画面上部に各入力の情報が記載され、このセクションは青い線で囲まれています。
- ③画面下部に各出力の情報が記載され、このセクションは赤い線で囲まれています。



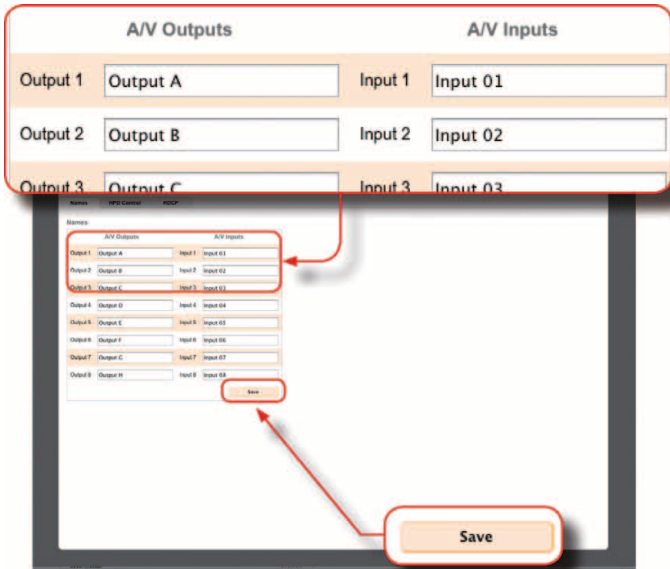
下表は各セクションに記載されている情報の一覧です。

入力	出力
・ Color depth	・ Rsense
・ Color space	・ Mask
・ HDCP (バージョン)	・ HDP
・ 3D (ステータス)	・ HDCP
・ アクティブな信号	・ ビデオモード
・ 垂直解像度	
・ 水平解像度	
・ Progressive / interlaced	
・ リフレッシュレート	
・ ビデオモード	

●入出力名の変更

デフォルトでは、各出力の名前は Output A ~ Output H、各入力の名前は Input 1 ~ Input 8 です。これらの名前は接続している機器に応じて、分かりやすい名前に変更することが可能です。

- ①内蔵ウェブインターフェイスの「Setup」タブをクリックします。
- ②「Names」サブタブをクリックします。
- ③変更する出力または入力のフィールドをクリックします。



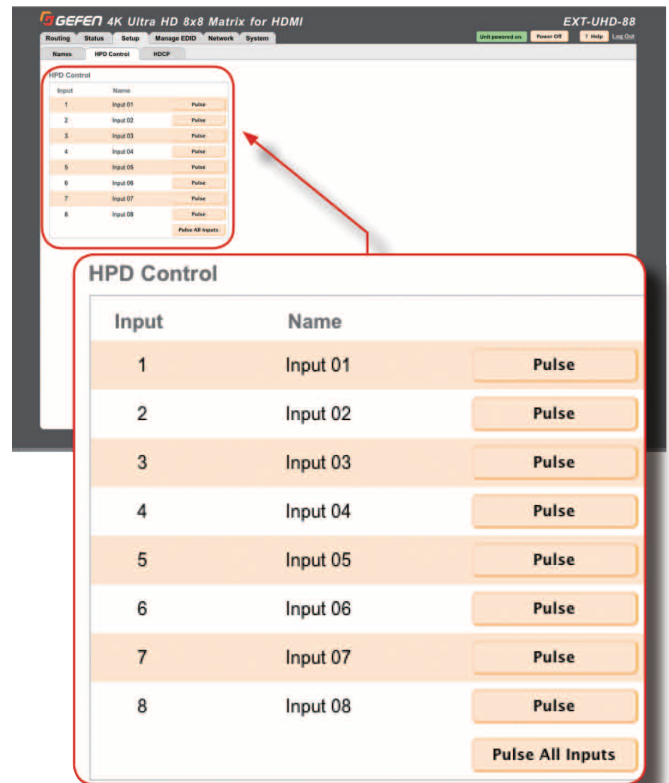
- ④変更を行った後、「Save」ボタンをクリックします。
- ⑤「Routing」タブ内に新しい入力 / 出力名が表示されます。但し、各フィールドの左側にある入出力名は変わりません。

●HPD コントロール

HPD (Hot-Plug Detect) は HDMI ケーブルがソース機器または表示機器に接続されているかどうかを検知する HDMI 機能であり、HDMI リンクの再接続にも使用されます。

ウェブインターフェイスには、入力へ HPD パルスを送信する機能があり、物理的にケーブルを挿し直さずに HDMI 接続をリセットすることができます。接続しているディスプレイは HPD 信号を受けると点滅します。

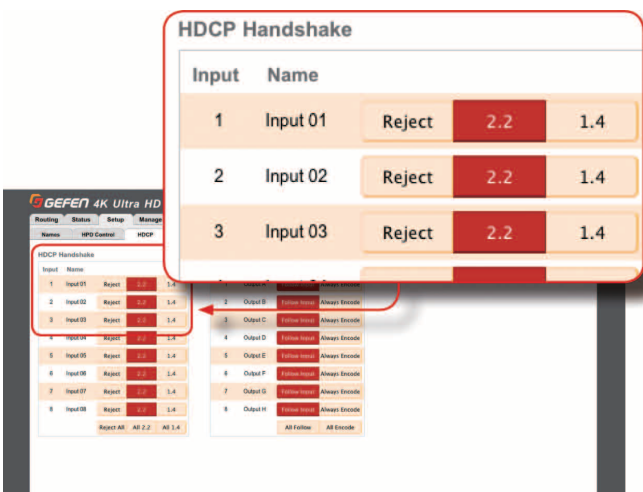
- ①内蔵ウェブインターフェイス内の「Setup」タブをクリックします。
- ②「HPD Control」サブタブをクリックします。
- ③入力に対して、「Pulse」ボタンをクリックします。また「Pulse All Inputs」ボタンをクリックして、全入力に HPD 信号を送信することもできます。



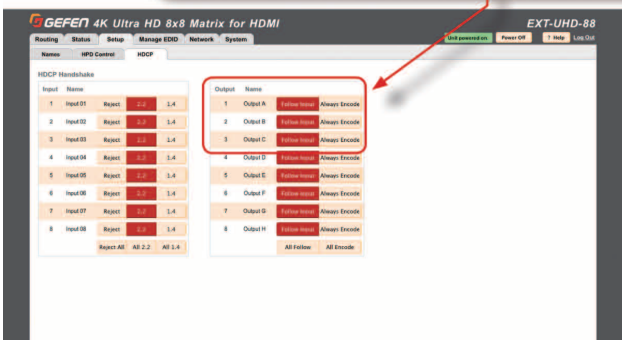
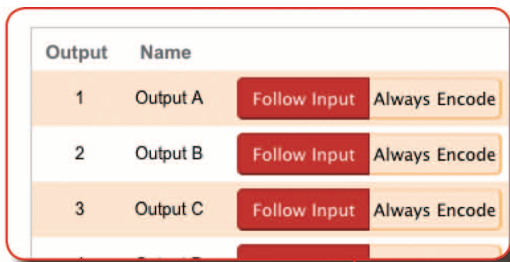
● HDCP

各入力には HDCP コンテンツをパススルーするか、対応しないように設定できます。また出力は入力構成と連動するか、常時 HDCP をエンコードするように設定できます。なお「Reject」機能を使用すると、HDCP コンテンツの暗号化は行われません。

- ①内蔵ウェブインターフェイス内の「Setup」タブをクリックします。
- ②「HDCP」サブタブをクリックします。
- ③入力の場合は入力の横にあるボタンを選択します。
 - > **Reject** - HDCP コンテンツをパススルーされません。「Reject All」ボタンをクリックすると、全入力が HDCP に対応されません。
 - > **2.2** - 表示機器が HDCP 2.2 をサポートする場合はこのボタンをクリックします。「All 2.2」ボタンをクリックすると、全入力は HDCP2.2 対応に設定されます。
 - > **1.4** - 表示機器が HDCP 1.4 をサポートする場合はこのボタンをクリックします。「All 1.4」ボタンをクリックすると、全入力は HDCP1.4 対応に設定されます。



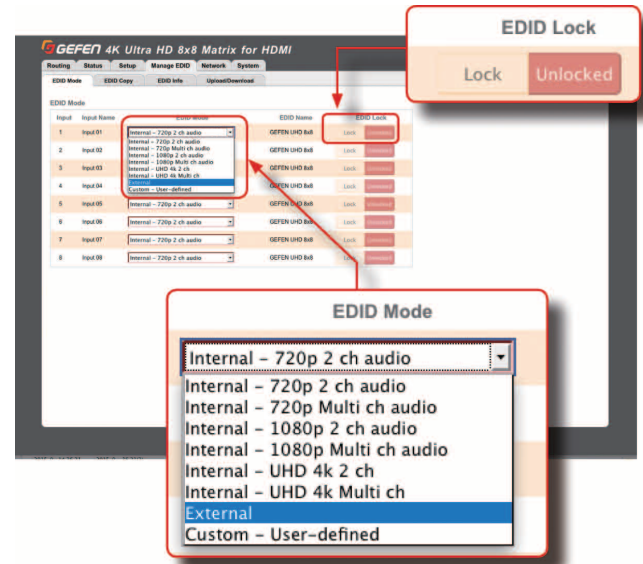
- ④出力の場合は出力の横にあるボタンを選択します。
 - > **Follow Input** - 出力は入力の設定に合わせて連動します。「Follow All」ボタンをクリックすると、全出力は入力構成と連動します。
 - > **Always Encode** - 入力信号にかかわらず、出力信号に HDCP をエンコードします。この機能は HDCP エンコード済みコンテンツを要求するディスプレイに使用します。「All Encode」ボタンをクリックすると、全出力は「Always Encode」に設定されます。



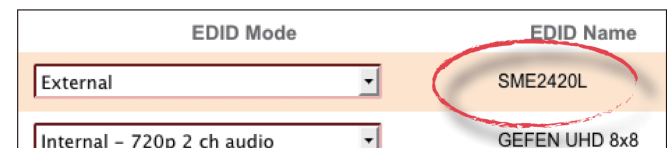
● EDID モードの設定

「EDID Mode」タブから各入力の EDID モード (internal preset, external または custom) を設定します。EDID モードを設定すると、EDID モードをロックまたはロックを解除することが可能です。

- ①内蔵ウェブインターフェイス内の「Manage EDID」タブをクリックします。
- ②「EDID Mode」タブをクリックします。
- ③ドロップダウンリストを使って、各入力の EDID モードを選択します。



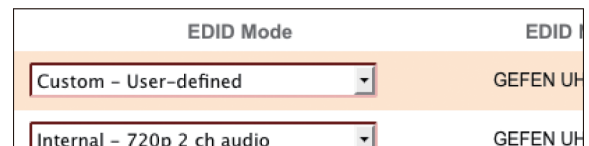
EDID モードを「External」に設定すると、「EDID Name」コラムにダウンロードした EDID (機器) 名が表示されます。



▼カスタム EDID の使用

「Custom - User-defined」では選択した入力にカスタム EDID を保存します。カスタム EDID を使用するには、下記手順に従って設定を行います。

- ①入力のドロップダウンリストから「Custom - User-defined」を選択します。



- ②「Custom」モードを使用する入力に EDID をコピーまたはアップロードします。詳しくは、下記セクションを参照してください。

- > 30 ページ「EDID データのコピー」
- > 31 ページ「EDID データのアップロード / ダウンロード」

- ③EDID ロックモードを「Locked」または「Unlocked」に設定します。

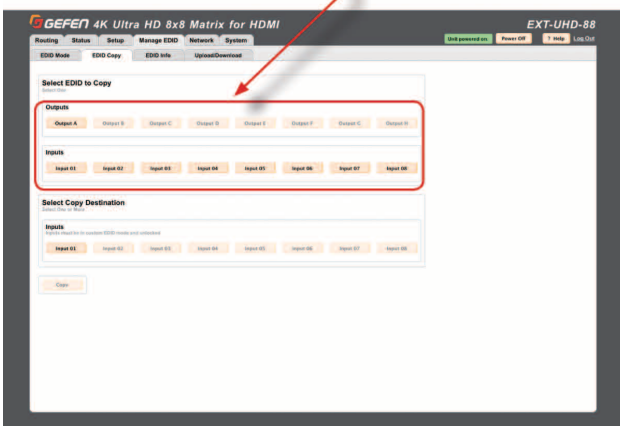
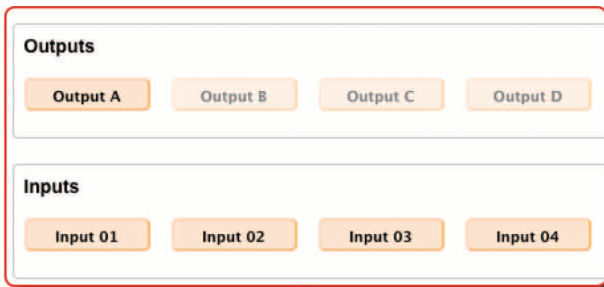
- **Locked**
電源を落としても使用中の EDID は保持されます。入力に接続しているカスタム EDID を使用するソース機器はカスタム EDID を使用します。
- **Unlocked**
本体の電源を入れ直すとカスタム EDID は消去されます。

- ④カスタム EDID 名は「EDID Name」コラムに表示されます。

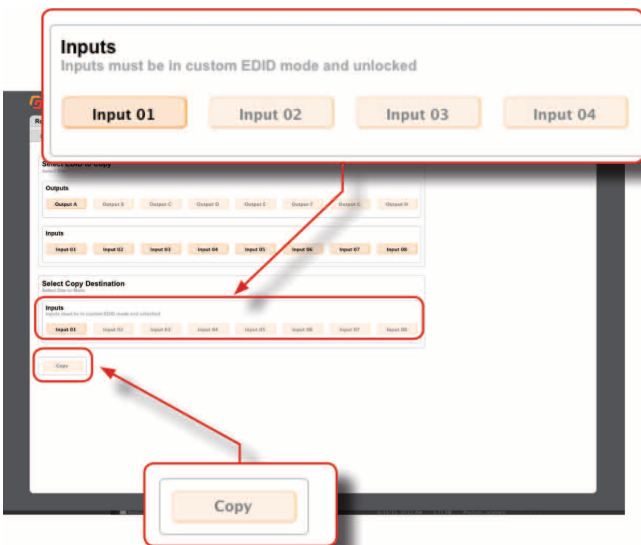
● EDID データのコピー

「EDID Copy」タブでは、入力または出力（表示機器）の EDID を入力にコピーできます。EDID を入力にコピーするためには、入力のロックは解除されており、「Custom - User-defined」モードに設定されている必要があります。詳しくは 29 ページ「EDID モードの設定」を参照してください。

- ①内蔵ウェブインターフェイス内の「Manage EDID」タブをクリックします。
- ②「EDID Copy」サブタブをクリックします。
- ③「Select ID to Copy」セクションから出力または入力ボタンをクリックします。なお、一度に選択できる入力または出力はひとつのみです。



- ④入力または出力を選択した後、EDID がコピーされる入力ボタンをクリックします。一度に複数の入力を選択することもできます。

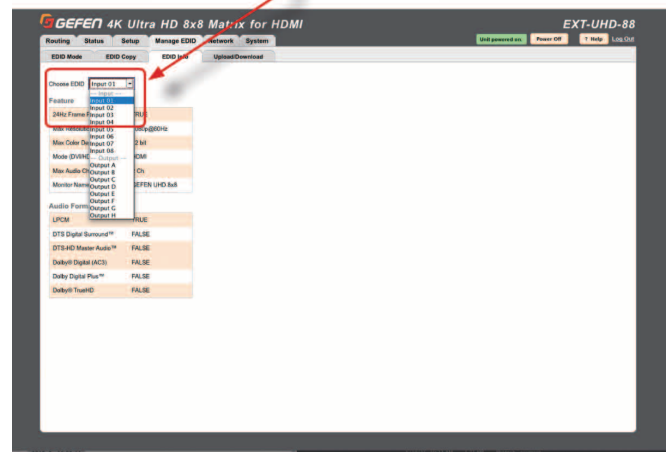
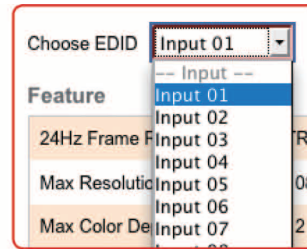


- ⑤「Copy」ボタンをクリックします。クリックするには出力または入力（ソース機器）と入力（コピー先）の両方を選択する必要があります。
- ⑥EDID コピー作業の完了です。必要に応じて手順③～⑤を繰り返します。

● EDID 情報の取得

「EDID Info」サブタブでは、入力または表示機器の EDID 情報を表示します。

- ①内蔵ウェブインターフェイスの「Manage EDID」タブをクリックします。
- ②「EDID Info」サブタブをクリックします。
- ③「Choose EDID」ドロップダウンリストから入力または出力を選択します。



- ④選択された入力または出力の EDID 情報が表示されます。

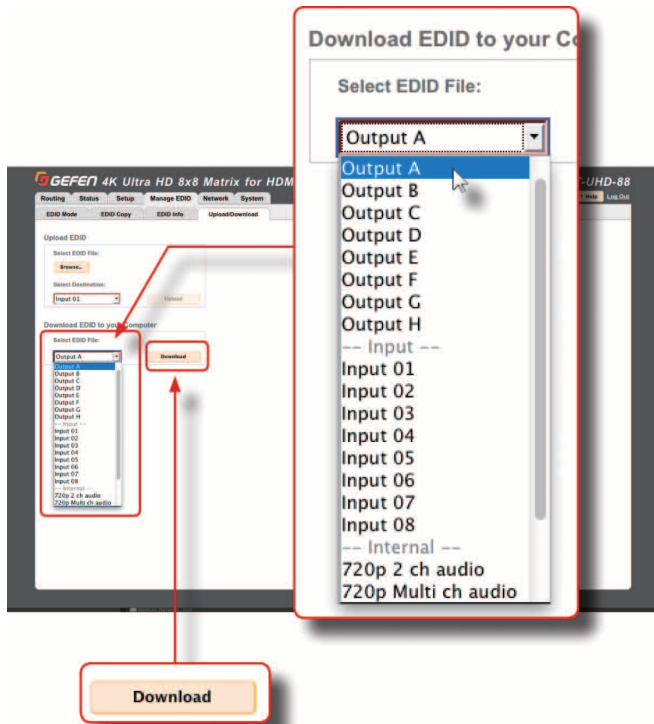
● EDID データのアップロード / ダウンロード

入力、出力または内部 EDID プリセットの EDID データをファイルとしてコンピュータへダウンロードできます。ロックしていない入力へコンピュータへ保存した EDID ファイルをアップロードすることも可能です。

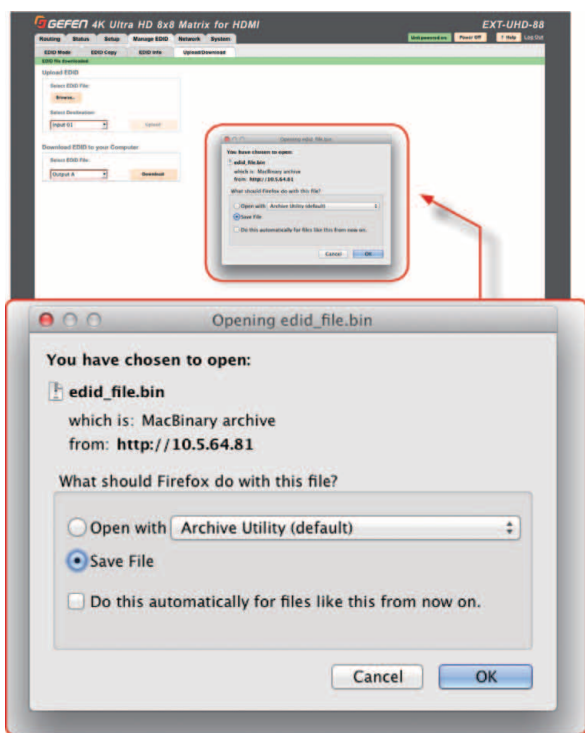
- ①内蔵ウェブインターフェイスの「Manage EDID」タブをクリックします。
- ②「Upload/Download」サブタブをクリックします。

▼ EDID のアップロード

- ①「Select ID File」ドロップダウンリストを使って、ダウンロードする入力、出力または EDID プリセットを選択します。
- ②「Download」ボタンをクリックします。



- ③下記ダイアログが表示されます。



- ④「Save File」を選択して「OK」ボタンをクリックし、コンピュータに EDID ファイルを保存します。

・ Mac OS X

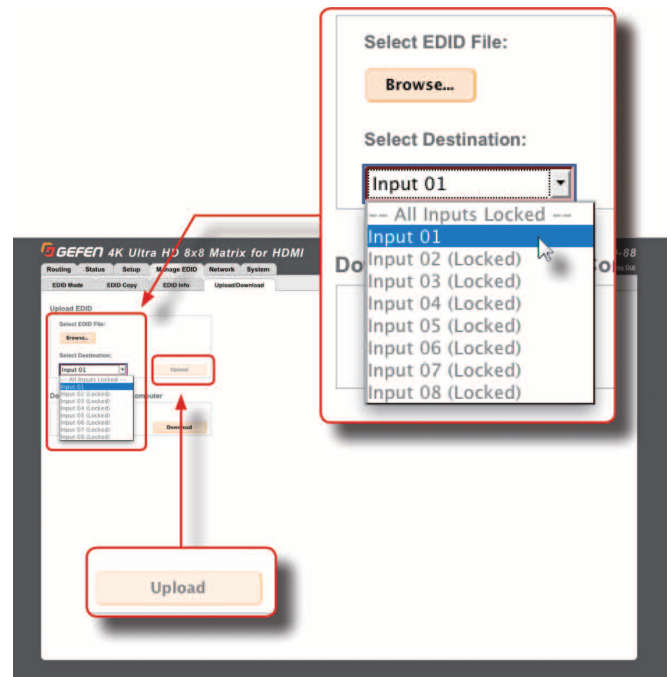
ファイルは自動的に下記の場所へ保存されます。
Macintosh HD\Users\[username]\Downloads.

・ Windows OS

ファイルは下記の場所へ保存されます。
C:\Users\[username]\Downloads

▼ EDID のアップロード

- ① EDID ファイルがアップロードされる入力を「Custom」モードに設定します。詳しくは 29 ページ「EDID モードの設定」を参照してください。
- ②「Upload EDID」セクションの「Browse..」ボタンをクリックします。
- ③「File Upload」ダイアログが表示されます。
- ④コンピュータから EDID ファイルを選択します。なお、EDID ファイルは必ず .bin 形式にしてください。ファイルを選択したらダイアログボックスの「OK」ボタンをクリックします。
- ⑤「Select Destination」ドロップダウンリストを使って、アップロードされる EDID の入力を選択します。入力のロックは必ず解除してください。詳しくは 29 ページの「EDID モードの設定」を参照してください。
- ⑥「Upload」ボタンをクリックします。



●ネットワーク設定の構成

Gefen Syner-G 経由で本機のネットワーク構成を設定したら、内蔵ウェブインターフェイス経由でネットワーク設定を変更できます。ネットワーク設定にアクセスするには、内蔵ウェブインターフェイスの「Network」タブをクリックします。

ネットワーク設定を変更した場合、ページ下部にある「Save」ボタンをクリックします。ネットワーク設定を工場出荷時のデフォルトに戻すには、「Set Network Defaults」ボタンをクリックします。

▼ IP 設定

- ①「Static」または「DHCP」ボタンをクリックして、ネットワークモードを設定します。
- ②「Static」モードに設定する場合、「IP Address」、「Subnet」と「Gateway」フィールドに IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを入力します。「DHCP」モードに設定する場合、これらの値は DHCP サーバから割り当てられます。
- ③「HTTP Port」フィールドに HTTP リスニングポートを入力します。

The screenshot shows the 'Network' configuration page. Callouts highlight the following fields:

- IP Address:** 10.5.64.1
- Subnet:** 255.255.255.0
- Gateway:** 10.5.64.1
- MAC Address:** 00:1C:91:04:90:03
- HTTP Port:** 80
- Mode:** Static (selected), DHCP

▼ TCP/Telnet 設定

- a. **TCP Access** : 「Enable」ボタンで本体の Telnet アクセスを有効にします。無効にする場合は「Disable」ボタンをクリックします。
- b. **TCP Port** : フィールドに TCP リスニングポートを入力します。
- c. **Login Message on Connect** : 「Show」ボタンで Telnet セッションの開始時にウェルカムメッセージを表示します。表示しない場合は「Hide」ボタンをクリックします。
- d. **Require Password on Connect** : 「Enable」ボタンで、Telnet セッションの開始時にパスワードログインを要求します。

The screenshot shows the 'TCP/Telnet Settings' page. Callouts highlight the following fields:

- TCP Access:** Enabled (selected), Disable
- TCP Port:** 23
- Login Message on Connect:** Show (selected), Hide
- Require Password on Connect:** Enabled (selected), Disable

▼ Web Login 設定

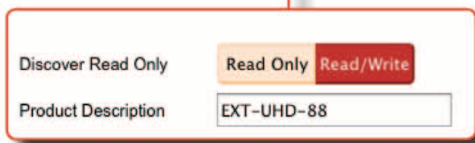
- a. **Username** : 「Administrator」でパスワードを変更します。変更しない場合は「Operator」ボタンをクリックします。
- b. **New Password** : 選択したユーザーのパスワードを入力します。
- c. **Old Password** : 古いパスワード（既存）を入力します。
- d. **Confirm New Password** : 新しいパスワードを確認するため、フィールドに再度新しいパスワードを入力します。

The screenshot shows the 'Web Login Settings' page. Callouts highlight the following fields:

- Username:** Operator (selected), Administrator
- New Password:** [Empty field]
- Old Password:** [Empty field]
- Confirm New Password:** [Empty field]

▼ディスカバリー・プロトコル設定

- a. **Enable Discovery** : 「Enable」 ボタンでディスカバリーモードが有効に、「Disabled」 ボタンで無効になります。ネットワークで Gefen Syner-G から本機を検出するには、この機能を有効に設定してください。
- b. **Find Your Device** : ネットワークで物理的に本機を確認するには、「Show Me」 ボタンをクリックします。「Enable」 ボタンを有効にするには、「Enable Discovery」 は「Enable」 に設定する必要があります。
- c. **Discovery Read Only** : 「Read Only」 に設定する場合、本機の IP 設定は Syner-G に表示されますが、変更はできません。Gefen Syner-G 経由で IP 設定を表示 / 変更するには、「Read/Write」 ボタンをクリックします。
- d. **Product Description** : デフォルトの説明文は「EXT-UHD-88」です。Gefen Syner-G ソフトウェアを使用する際に、この名前で本機を認識します。



●システム設定

「System」 タブでは様々な機能进行操作します。

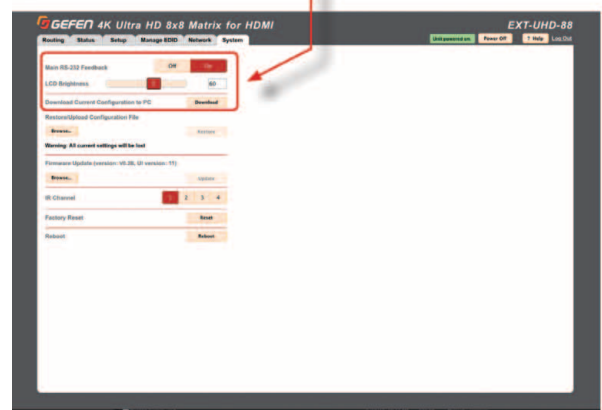
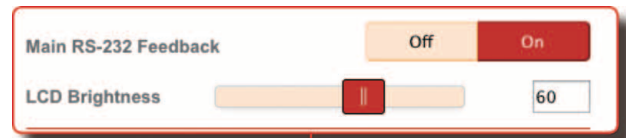
▼ Main RS-232 Feedback

- ①「Off」 ボタンで、RS-232 フィードバックを無効にします。
- ②「On」 ボタンで、RS-232 フィードバックを有効にします。

▼ LCD Brightness

フロントパネル LCD 表示の輝度を上げ / 下げます。

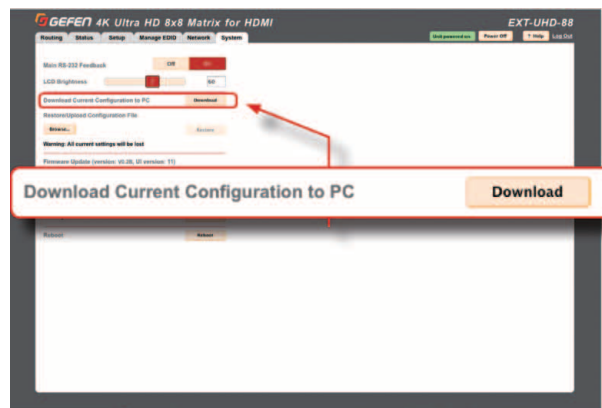
- ①スライダを右に動かして輝度を上げます。
- ②スライダを左に動かして輝度を下げます。



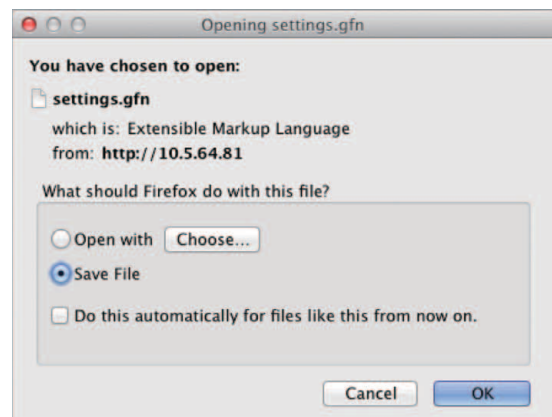
▼現在の構成を PC ダウンロード

現在のマトリクス構成をファイルとしてコンピュータに保存します。

- ①「Download」 ボタンをクリックします。



- ②下記ダイアログボックスが表示されます：



③「Save File」を選択して「OK」ボタンをクリックし、コンピュータにマトリクス構成を保存します。

・ Mac OS X

ファイルは自動的に下記の場所へ保存されます。
Macintosh HD\Users\[username]\Downloads.

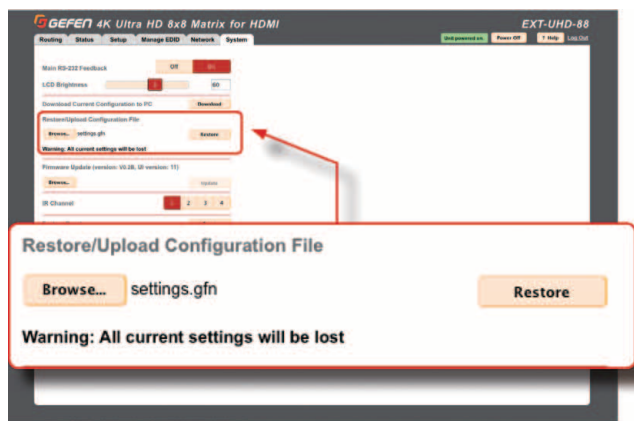
・ Windows OS

ファイルは下記の場所へ保存されます。
C:\Users\[username]\Downloads

▼構成ファイルのリストア / アップロード

コンピュータのファイルから選択されたマトリクス構成を本機にアップロードします。

①「Browse..」ボタンをクリックします。



②コンピュータから構成ファイルを選択します。構成ファイルを選択した後、「Browse..」ボタンの横にファイル名が表示されます。

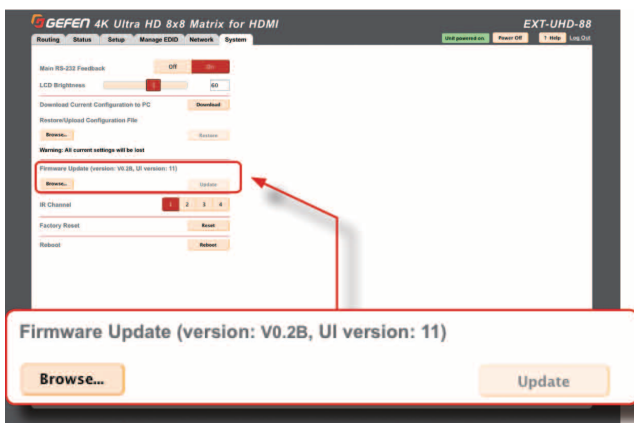
③「Restore」ボタンをクリックして、ファイルをアップロードします。

▼ファームウェアのアップデート

最新のファームウェアファイルを本機にアップロード / 適用します。

①最新のファームウェアは Gefen ホームページからダウンロードできます。

②「Browse..」ボタンをクリックします。



③コンピュータからファームウェアファイルを選択します。なお、ファームウェアは必ず .bin ファイルであり、下記ファイル名でなければなりません。

EXT-UHD-88(version)(PACK).bin

④「Update」ボタンをクリックします。

⑤下記メッセージボックスが表示されます。

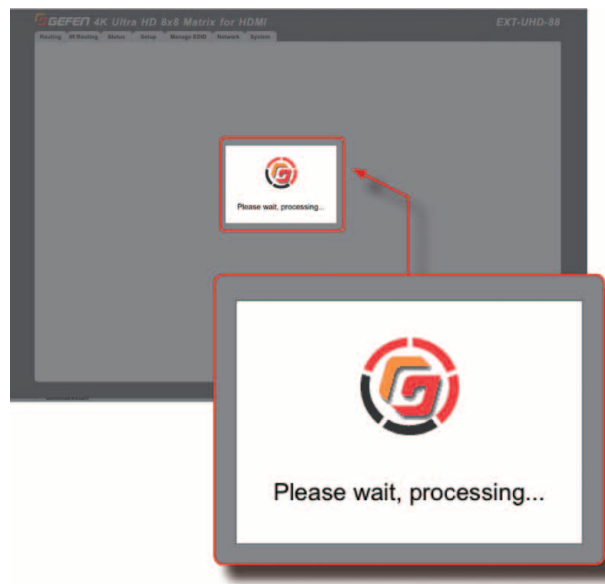
WARNING: Updating the firmware may overwrite some of your settings. Consider saving the configuration before updating the

firmware. Are you sure you want to continue?

構成を保存するには、メッセージボックスの「Cancel」ボタンをクリックします。詳しくは 33 ページ「現在の構成を PC ダウンロード」を参照してください。

⑥メッセージボックスの「OK」ボタンをクリックします。

⑦しばらくするとウェブインターフェイス内に下記メッセージボックスが表示されます。



本体のフロントパネルにある「Power」ボタンは赤く / 青く点滅し、フロントパネル液晶ディスプレイにアップデート状況が表示されます。

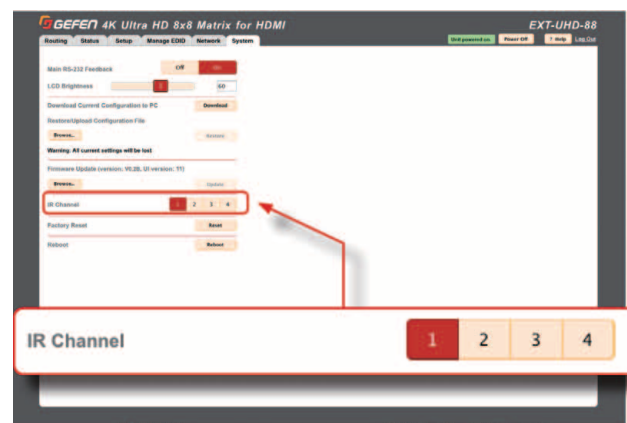


⑧アップデート作業が完了すると本機は自動的にリポートします。

▼ IR チャンネルの設定

本体の IR チャンネルを設定します。IR リモコンを使用するために、本体は必ず付属の IR リモコンと同じ IR チャンネルに設定して下さい。

①「IR Channel」ボタン（1～4）をクリックして、本体の IR チャンネルを設定します。



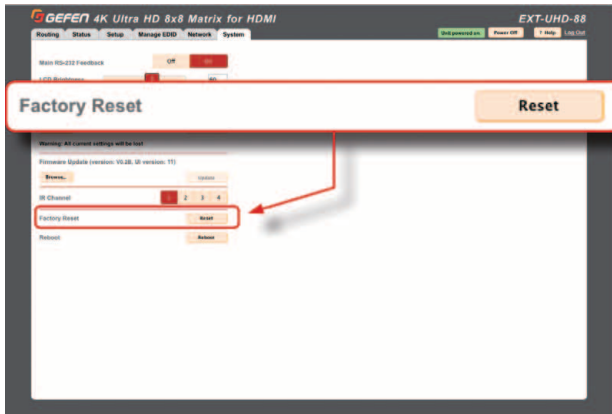
IR チャンネル設定は自動的に保存されるため、本体を再起動する必要はありません。

▼ファクトリーリセットの実行

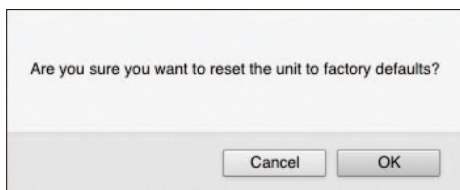
本体を工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。

この機能を実行すると既存の設定が全て消去される可能性があるため、リセット前に必ず既存の構成を保存して下さい。詳しくは33ページ「現在の構成をPCダウンロード」を参照してください。

①「Reset」ボタンをクリックします。



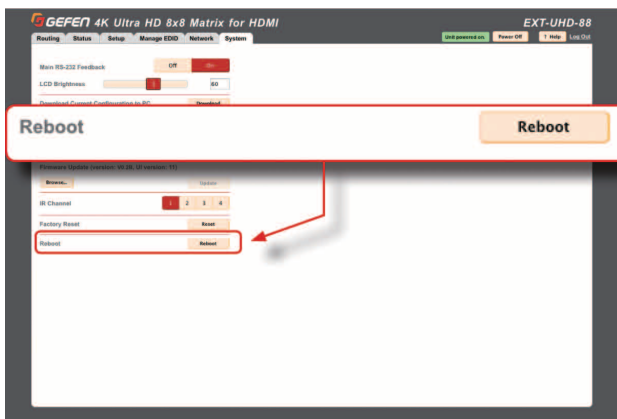
②下記メッセージボックスが表示されます。



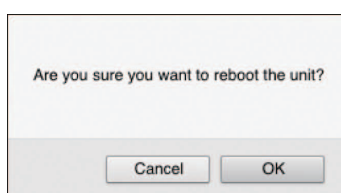
- > 「OK」ボタンをクリックして、リセット作業を続けます。
- > 「Cancel」ボタンをクリックするとリセット作業は中止され、ウェブインターフェイスに戻ります。

▼本体の再起動

①「Reboot」ボタンをクリックします。



②下記メッセージボックスが表示されます：



- > 「OK」ボタンをクリックして、再起動を続けます。
- > 「Cancel」ボタンをクリックするとリセット作業は中止され、ウェブインターフェイスに戻ります。

高度な操作

■ Telnet と RS-232

● Telnet の使用

①ターミナルアプリケーションを起動します。例えば、Windows オペレーティングシステムの場合、「Hyperterminal」を使用できます。Mac OS X の場合、「Terminal」アプリケーションを使用できます。

②コマンドプロンプトでは、下記を入力します：

```
telnet ip_address
「ip_address」は本体の IP アドレスです。
```

③ターミナルプログラムで正しく設定を行った後、下記のような情報が表示されます。

```
Welcome to EXT-UHD-88 Telnet
telnet->
```

④「#help」を入力して、コマンドリストを呼び出します。もしくは次ページの表を参照してください。

● RS-232 の使用

①ターミナルエミュレーションプログラム（例：ハイパーターミナル）を起動します。

②COM ポートを選択します。

③下記のように RS-232 ポートを設定します。なお、TXD、RXD と GND ピンのみ使用します。

説明	設定
ボーレート	19200
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1
フロー制御	なし

④RS-232 ポートに接続します。

⑤コマンド #help を入力し、コマンド表を呼び出します。コマンドについて、次のページの表を参照してください。

■ コマンド一覧

コマンド	設定
#factory_reset	工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。
#get_device_desc	本機の説明 (文字列) を表示します。
#get_discovery	ディスカバリ機能のステータスを表示します。
#get_discovery_mode	Discovery モードを表示します。
#get_edid_lock	特定の入力の EDID ロックステータスを表示します。
#get_edid_mode	特定の入力の EDID モードを表示します。
#get_gateway	本機のゲートウェイ IP アドレスを表示します。
#get_http_port	HTTP リスニングポートを表示します。
#get_input_hdcp	特定の入力の HDCP 設定を表示します。
#get_io_name	特定の出力名を表示します。
#get_ip_address	本機の IP アドレスを表示します。
#get_ip_mode	本機の IP モードを表示します。
#get_ipconfig	本機の IP 構成を表示します。
#get_mac_addr	本機の MAC アドレスを表示します。
#get_netmask	本機のサブネットマスクを表示します。
#get_output_hdcp	特定の出力の HDCP 設定を表示します。
#get_power	本機の電源ステータスを表示します。
#get_preset_name	特定のプリセット名を表示します。
#get_remote_udp_access	本機のリモート UDP アクセスステータスを表示します。
#get_remote_udp_ip	本機のリモート UDP IP アドレスを表示します。
#get_remote_udp_port	リモート UDP リスニングポートを表示します。
#get_telnet_access	Telnet のアクセスステータスを表示します。
#get_telnet_port	Telnet リスニングポートを表示します。
#get_telnet_welcome	Telnet のウェルカムメッセージを表示します。
#get_udp_access	UDP のアクセスステータスを表示します。
#get_udp_port	UDP リスニングポートを表示します。
#help	使用可能なコマンドを表示します。
#lock_matrix	本機をロック / ロック解除します。
#power	本機の電源をオン / オフします。
#reboot	本機をリブートします。
#send_hpd	特定の入力に HPD 信号を送信します。
#set_device_desc	本機の説明文を設定します。
#set_discovery	ディスカバリサービスを有効 / 無効にします。
#set_discovery_mode	Discovery モードを設定します。
#set_edid_copy	EDID コピー機能を有効 / 無効にします。
#set_edid_lock	特定の入力の EDID ロックを設定します。
#set_edid_mode	特定の入力の EDID モードを設定します。
#set_feedback	RS-232 フィードバックを有効 / 無効にします。
#set_gateway	本機のゲートウェイアドレスを設定します。
#set_http_port	HTTP リスニングポートを設定します。
#set_input_hdcp	入力の HDCP 設定を設定します。
#set_io_name	入力または出力の名前を設定します。
#set_ip_address	IP アドレスを設定します。
#set_ip_mode	IP モードを設定します。
#set_ir_channel	本機の IR チャンネルを設定します。
#set_lcd_brightness	フロントパネル LCD 表示の明るさを設定します。
#set_netmask	本機のサブネットマスクを設定します。
#set_output_hdcp	出力の HDCP 設定を設定します。
#set_preset_name	プリセットの名前を設定します。
#set_remote_udp_access	リモート UDP アクセスを有効 / 無効にします。
#set_remote_udp_ip	リモート UDP IP アドレスを設定します。

コマンド	設定
#set_remote_udp_port	本機のリモート UDP リスニングポートを設定します。
#set_showme	「Show Me」機能を有効 / 無効にします。
#set_telnet_access	Telnet アクセスを有効 / 無効にします。
#set_telnet_port	本機の Telnet リスニングポートを設定します。
#set_telnet_welcome	Telnet ウェルカムメッセージを有効 / 無効にします。
#set_udp_access	UDP アクセスを有効 / 無効にします。
#set_udp_port	本機の UDP リスニングポートを設定します。
#show_firmware_version	本機のファームウェアバージョンを表示します。
#use_telnet_login	Telnet パスワードを有効 / 無効にします。
m	特定の出力をマスクまたはマスクを解除します。
p	プリセットを呼び出します。
r	入出力を切り替えます。

● #factory_reset

本機を工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。出力は全てマスク解除され、全ての IP 設定や UDP 設定はデフォルト設定にリセットされます。内蔵ウェブインターフェイスまたは Telnet 経由で行った場合、IP 設定はリセットされずそのまま残ります。IP 設定を含む全てをリセットするには、RS-232 経由でこのコマンドを実行してください。

```
構文.....#factory_reset
パラメーター.....なし
構文例.....#factory_reset
                RESET TO FACTORY DEFAULTS

                EXT-UHD-88 V0.2B

                OUT:ABCDEFGH
                IN:12345678
```

関連コマンド#reboot

● #get_device_desc

デバイスの説明文を表示します。

```
パラメーター.....なし
構文例.....#get_device_desc
                DEVICE DESCRIPTION IS EXT-UHD-88
関連コマンド .....#set_device_desc
```

● #get_discovery

ディスカバリモード設定のステータスを表示します。下記値のいずれかが表示されます。

値	説明
0	“Discovery” モードは無効
1	“Discovery” モードは有効

```
構文.....#get_discovery
パラメーター.....なし
構文例.....#get_discovery
                DISCOVERY 1
関連コマンド .....#set_discovery
                #set_showme
```

● #get_discovery_mode

ディスカバリモードの設定を表示します。下記値のいずれかが表示されます。

値	説明
0	読み込みのみ
1	読み込み / 書き込み

構文.....#get_discovery_mode
 パラメーター.....なし
 構文例.....#get_discovery_mode
 #get_discovery_mode 1
 関連コマンド.....#get_discovery
 #set_discovery
 #set_discovery_mode

● #get_edid_lock

特定の入力の EDID ロックのステータスを表示します。戻り値として下記数値が表示されます。

値	説明
0	EDID ロックは解除
1	EDID ロック中

構文.....#get_edid_lock input
 パラメーター.....input
 種類: 整数
 HDMI 入力 (1 ~ 8) 番号
 構文例.....#get_edid_lock 1
 EDID_LOCK 1 0
 関連コマンド.....#get_edid_mode
 #set_edid_copy
 #set_edid_lock
 #set_edid_mode

● #get_edid_mode

特定の入力の EDID モードを表示します。戻り値として下記数値が表示されます。

値	説明
0	Internal 720p 2Ch
1	Internal 720p Multi-Ch
2	Internal 1080p 2Ch
3	Internal 1080p Multi-Ch
4	Internal UHD 2Ch
5	Internal UHD Multi-Ch
6	External (出力 A)
7	カスタム

構文.....#get_edid_mode input
 パラメーター.....input
 種類: 整数
 HDMI 入力番号 (1 ~ 8)
 構文例.....#get_edid_mode 1
 #get_edid_mode 1 0
 関連コマンド.....#get_edid_lock
 #set_edid_copy
 #set_edid_lock
 #set_edid_mode

● #get_gateway

本機のゲートウェイの IP アドレスを表示します。

構文.....#get_gateway
 パラメーター.....なし
 構文例.....#get_gateway
 GATEWAY 10.5.64.1
 関連コマンド.....#get_http_port
 #get_ip_address
 #get_ip_mode
 #get_ipconfig
 #get_mac_addr
 #get_netmask
 #set_gateway
 #set_http_port
 #set_ip_address
 #set_ip_mode
 #set_netmask

● #get_http_port

本機の HTTP リスニングポートを表示します。

構文.....#get_http_port
 パラメーター.....なし
 構文例.....#get_http_port
 HTTP_PORT 80
 関連コマンド.....#get_gateway
 #get_ip_address
 #get_ip_mode
 #get_ipconfig
 #get_mac_addr
 #get_netmask
 #set_gateway
 #set_http_port
 #set_ip_address
 #set_ip_mode
 #set_netmask

● #get_input_hdcp

特定の入力の HDCP 設定を表示します。戻り値として下記数値が表示されます。

値	説明
0	無効
1	HDCP 2.2 以下
2	HDCP 1.4 以下

構文.....#get_input_hdcp input
 パラメーター.....input
 種類: 整数
 HDMI 入力番号 (1 ~ 8)
 構文例.....#get_input_hdcp 1
 INPUT_HDCP 1 0
 関連コマンド.....#get_output_hdcp
 #set_input_hdcp
 #set_output_hdcp

● #get_io_name

特定の入力または出力名を表示します。

構文.....#get_io_name inout
 パラメーター.....input
 種類: 整数
 HDMI 入力番号 (1 ~ 8)
 構文例.....#get_io_name 1
 IO_NAME 1 Bluray
 関連コマンド.....#set_io_name

● #get_ip_address

本機の IP アドレスを表示します。

```
構文.....#get_ip_address
パラメーター.....なし
構文例.....#get_ip_address
                IP_ADDRESS 10.5.64.81
関連コマンド.....#get_gateway
                #get_http_port
                #get_ip_mode
                #get_ipconfig
                #get_mac_addr
                #get_netmask
                #set_gateway
                #set_http_port
                #set_ip_address
                #set_ip_mode
                #set_netmask
```

● #get_ip_mode

本機の IP モードを表示します。戻り値として下記数値が表示されます。

値	説明
0	Static モード
1	DHCP モード

```
構文.....#get_ip_mode
パラメーター.....なし
構文例.....#get_ip_mode
                IP_MODE 0
関連コマンド.....#get_gateway
                #get_http_port
                #get_ip_address
                #get_ipconfig
                #get_mac_addr
                #get_netmask
                #set_gateway
                #set_http_port
                #set_ip_address
                #set_ip_mode
                #set_netmask
```

● #get_ipconfig

本機の IP 構成を表示します。MAC アドレスやブロードキャスト IP アドレスに加え、コマンド #get_ip_address、#get_netmask、#get_gateway、#get_mac_addr を実行した時と同じ情報が表示されます。

```
構文.....#get_ipconfig
パラメーター.....なし
構文例.....#get_ipconfig
                IP CONFIGURATION IS :
                IP: 10.5.64.81
                NETMASK: 255.255.255.0
                GATEWAY: 10.5.64.1
                MAC ADDRESS: 00:1C:91:04:90:03
関連コマンド.....#get_gateway
                #get_http_port
                #get_ip_mode
                #get_ip_address
                #get_mac_addr
                #get_netmask
                #set_gateway
                #set_http_port
                #set_ip_address
                #set_ip_mode
                #set_netmask
```

● #get_ir_channel

本機の IR チャンネルを表示します。

```
構文.....#get_ir_channel
パラメーター.....なし
構文例.....#get_ir_channel
                IR_CHANNEL 1
関連コマンド.....#set_ir_channel
```

● #get_lcd_brightness

フロントパネル LCD 表示の輝度をを表示します。

```
構文.....#get_lcd_brightness
パラメーター.....なし
構文例.....#get_lcd_brightness
                LCD_BRIGHTNESS 60
関連コマンド.....#set_lcd_brightness
```

● #get_mac_addr

本機の MAC アドレスを表示します。

```
構文.....#get_mac_addr
パラメーター.....なし
構文例.....#get_mac_addr
                MAC ADDRESS IS: 00:1C:91:04:90:03
関連コマンド.....#get_gateway
                #get_http_port
                #get_ip_address
                #get_ip_mode
                #get_ipconfig
                #get_netmask
                #set_gateway
                #set_http_port
                #set_ip_address
                #set_ip_mode
                #set_netmask
```

● #get_netmask

本機のサブネットマスクを表示します。

```
構文.....#get_netmask
パラメーター.....なし
構文例.....#get_netmask
                NETMASK 255.255.255.0
関連コマンド.....#get_gateway
                #get_http_port
                #get_ip_address
                #get_ip_mode
                #get_ipconfig
                #get_mac_addr
                #set_gateway
                #set_http_port
                #set_ip_address
                #set_ip_mode
                #set_netmask
```


● #get_output_hdcp

特定の出力の HDCP 設定を表示します。戻り値として下記数値が表示されます。

値	説明
0	入力と連動
1	常時エンコード

構文.....#get_output_hdcp output
 パラメーター.....output
 種類: 文字
 HDMI 出力 (A ~ H) の識別子
 構文例.....#get_output_hdcp c
 OUTPUT_HDCP C 1
 関連コマンド.....#set_output_hdcp

● #get_power

本機の電源状況を表示します。戻り値として下記数値が表示されます。

値	説明
0	電源オフ
1	電源オン

構文.....#get_power
 パラメーター.....なし
 構文例.....#get_power
 POWER 1
 関連コマンド.....#power

● #get_preset_name

特定のプリセットの名前を表示します。

構文.....#get_preset_name preset
 パラメーター.....preset
 種類: 整数
 プリセット名 (1 ~ 16) 識別子。
 構文例.....#get_preset_name 5
 PRESET_NAME 5 Kitchen
 関連コマンド.....#set_preset_name

● #get_remote_udp_access

リモート UDP のアクセスステータスを表示します。戻り値として下記数値が表示されます。

値	説明
0	リモート UDP アクセスは無効
1	リモート UDP アクセスは有効

構文.....#get_remote_udp_access
 パラメーター.....なし
 構文例.....#get_remote_udp_access
 REMOTE_UDP_ACCESS 0
 関連コマンド.....#get_remote_udp_ip
 #get_remote_udp_port
 #get_udp_access
 #get_udp_port
 #set_remote_udp_access
 #set_remote_udp_ip
 #set_remote_udp_port
 #set_udp_access
 #set_udp_port

● #get_remote_udp_ip

リモート UDP IP アドレスを表示します。

構文.....#get_remote_udp_ip
 パラメーター.....なし
 構文例.....#get_remote_udp_access
 REMOTE_UDP_IP 192.168.1.255
 関連コマンド.....#get_remote_udp_access
 #get_remote_udp_port
 #get_udp_access
 #get_udp_port
 #set_remote_udp_access
 #set_remote_udp_ip
 #set_remote_udp_port
 #set_udp_access
 #set_udp_port

● #get_remote_udp_port

リモート UDP リスニングポートを表示します。

構文.....#get_remote_udp_port
 パラメーター.....なし
 構文例.....#get_remote_udp_port
 REMOTE_UDP_PORT 50008
 関連コマンド.....#get_remote_udp_access
 #get_remote_udp_ip
 #get_udp_access
 #get_udp_port
 #set_remote_udp_access
 #set_remote_udp_ip
 #set_remote_udp_port
 #set_udp_access
 #set_udp_port

● #get_telnet_access

Telnet のアクセスステータスを表示します。コマンド #set_telnet_access を使って、Telnet アクセスを有効 / 無効にします。

構文.....#get_telnet_access
 パラメーター.....なし
 構文例.....#get_telnet_access
 TELNET_ACCESS 1
 関連コマンド.....#get_telnet_port
 #get_telnet_welcome
 #set_telnet_access
 #set_telnet_port
 #set_telnet_welcome
 #use_telnet_login

● #get_telnet_port

Telnet リスニングポートを表示します。

構文.....#get_telnet_port
 パラメーター.....なし
 構文例.....#get_telnet_port
 TELNET_PORT 23
 関連コマンド #get_telnet_access
 #get_telnet_welcome
 #set_telnet_access
 #set_telnet_port
 #set_telnet_welcome
 #use_telnet_login

● #get_telnet_welcome

Telnet ウェルカムメッセージを表示します。コマンド #set_telnet_welcome ウェルカムメッセージを作成します。

構文.....#get_telnet_welcome
 パラメーター.....なし
 構文例.....#get_telnet_welcome
 TELNET WELCOME SCREEN IS ENABLED
 関連コマンド.....#get_telnet_access
 #get_telnet_port
 #set_telnet_access
 #set_telnet_port
 #set_telnet_welcome
 #use_telnet_login

● #get_udp_access

UDP のアクセスステータスを表示します。コマンド #set_udp_access を使って、UDP アクセスを有効 / 無効にします。戻り値として下記数値が表示されます。

値	説明
0	UDP アクセスは有効
1	UDP アクセスは無効

構文 #get_udp_access
 パラメーター なし
 構文例 #get_udp_access
 UDP_ACCESS 0
 関連コマンド.....#get_remote_udp_access
 #get_remote_udp_ip
 #get_remote_udp_port
 #get_udp_port
 #set_remote_udp_access
 #set_remote_udp_ip
 #set_remote_udp_port
 #set_udp_access
 #set_udp_port

● #get_udp_port

ローカル UDP リスニングポートを表示します。

構文.....#get_udp_port
 パラメーター.....なし
 構文例.....#get_udp_port
 UDP_PORT 50007
 関連コマンド.....#get_remote_udp_access
 #get_remote_udp_ip
 #get_remote_udp_port
 #get_udp_access
 #set_remote_udp_access
 #set_remote_udp_ip
 #set_remote_udp_port
 #set_udp_access
 #set_udp_port

● #help

使用可能なコマンドを表示します。表示されるコマンドリストは送信機や受信機によって異なります。

構文.....#help
 パラメーター.....なし
 構文例.....#help
 [Presets]
 P
 #SET_PRESET_NAME
 #GET_PRESET_NAME

 [Setup]
 #SET_IO_NAME
 #GET_IO_NAME
 #SEND_HPD
 #SET_INPUT_HDCP
 #GET_INPUT_HDCP
 #SET_OUTPUT_HDCP
 #GET_OUTPUT_HDCP

 [MANAGE EDID]
 #SET_EDID_MODE
 #GET_EDID_MODE
 #SET_EDID_LOCK
 ...
 ...

 [SYSTEM SETTINGS]
 #SET_FEEDBACK
 #SHOW_FIRMWARE_VERSION
 #SET_LCD_BRIGHTNESS
 #GET_LCD_BRIGHTNESS
 #SET_IR_CHANNEL
 #GET_IR_CHANNEL
 #FACTORY_RESET
 #REBOOT

● #lock_matrix

本体ロックまたはロックを解除します。このコマンドは本体のフロントパネルと内蔵ウェブインターフェイスをロックします。なお、マトリクスがロックされても、コマンドセットを使えば、設定を変更することは可能です。

構文.....#lock_matrix state
 パラメーター.....state
 種類: 整数
 下記ステータスを表す数値に対応します。

ステータス	説明
0	マトリクスのロックを解除
1	マトリクスをロック

構文例.....#lock_matrix 1
 LOCK_MATRIX 1

● #power

本機の電源をオン / オフします。

構文 #power state

パラメーター.....state
 種類: 整数
 下記ステータスを表す数値に対応します。

ステータス	説明
0	マトリクスの電源をオフ
1	マトリクスの電源をオン

構文例.....#power 1
 POWER 1
 関連コマンド.....#get_power

● #reboot

本体を再起動します。

構文.....#reboot
 パラメーター.....なし
 構文例.....#reboot
 UNIT WILL REBOOT SHORTLY
 関連コマンド.....#factory_reset

● #send_hpd

特定の入力に HPD (Hot-Plug Detect) パルスを送信します。

構文.....#send_hpd input
 パラメーター.....input
 種類: 整数
 HPD を送信する HDMI 入力 (1 ~ 8) の識別子。
 構文例.....#send_hpd 1
 HPD SENT

● #set_device_desc

本機の説明文を設定します。

構文.....#set_device_desc name
 パラメーター.....name
 種類: 文字列
 マトリクスの説明文。値の最大文字数は 30 です。
 構文例.....#set_device_desc matrix202
 DEVICE DESCRIPTION IS SET TO matrix202
 関連コマンド.....#get_device_desc

● #set_discovery

Discovery 機能を有効 / 無効にします。デフォルト設定は有効です。

構文.....#set_discovery state
 パラメーター.....state
 種類: 整数
 下記ステータスを表す数値に対応します。

ステータス	説明
0	"Discovery" モードを無効
1	"Discovery" モードを有効

無効に設定すると、Syner-G Software Suite ソフトウェアは本機を検出できません。本機のネットワーク設定を終えるまでは有効のままにすることをお勧めします。

構文例.....#set_discovery 0
 DISCOVERY 0
 関連コマンド.....#get_discovery
 #get_discovery_mode
 #set_discovery_mode

● #set_discovery_mode

Discovery モードを設定します。デフォルト設定は読み / 書きです。

構文.....#set_discovery_mode mode
 パラメーター.....mode
 種類: 整数
 下記ステータスを表す数値に対応します。

ステータス	説明
0	読みのみ
1	読み / 書き

読みモードに設定すると、本機の IP 設定は Gefen Syner-G Suite ソフトウェアに表示されますが、変更することはできません。IP 設定を Gefen Syner-G Suite ソフトウェア上に表示 / 変更するには、読み / 書きモードに設定して下さい。

構文例.....#set_discovery_mode 0
 DISCOVERY MODE 0
 関連コマンド.....#get_discovery
 #get_discovery_mode
 #set_discovery

● #set_edid_copy

カスタム EDID モードの使用中に、出力または入力から EDID を特定の入力にコピーします。EDID をコピーには、コピー先の入力をカスタムモードに設定し、ロックを解除する必要があります。詳しくは 30 ページ「EDID データのコピー」を参照してください。

構文.....#set_edid_copy inout input [...input]
 パラメーター.....inout
 種類: 整数または文字
 ※ HDMI 入力 (1 ~ 8) 番号、または HDMI 出力 (A ~ H) の識別子。なお、一度に指定できるのは1つの入力または出力のみです。

 input
 種類: 整数
 ※ HDMI 入力 (1 ~ 8) 識別子、複数可。
 構文例.....#set_edid_copy a 1
 EDID_COPY a 1

 #set_edid_copy b 2 5 6
 EDID_COPY b 2 5 6

関連コマンド.....#get_edid_lock
 #get_edid_mode
 #set_edid_lock
 #set_edid_mode

● #set_edid_lock

カスタム EDID モード中、EDID をロックまたはロックを解除します。このコマンドはカスタムに設定された入力だけに動作します。詳しくは、#set_edid_mode コマンドを参照してください。

構文.....#set_edid_lock input state
 パラメーター
 input.....種類: 整数
 ※ HDMI 入力 (1 ~ 8) の識別子
 state.....種類: 整数
 ※下記ステータスを表す数値に対応します。

ステータス	説明
0	EDID ロックを解除
1	EDID ロック

構文例.....#set_edid_lock 1 0
 SET_EDID_LOCK 1 0
 関連コマンド.....#get_edid_lock
 #get_edid_mode
 #set_edid_copy
 #set_edid_mode

● #set_edid_mode

特定の入力の EDID モードを設定します。

構文.....#set_edid_mode input mode
パラメーター

input 種類: 整数
※ HDMI 入力 (1 ~ 8) の識別子

mode 種類: 整数
※下記 EDID を表す数値に対応します。

モード	説明
0	Internal 720p 2Ch
1	Internal 720p マルチチャンネル
2	Internal 1080p 2Ch
3	Internal 1080p マルチチャンネル
4	Internal UHD 4K 2Ch
5	Internal UHD 4K マルチチャンネル
6	External (ダウンストリーム)
7	カスタム

構文例.....#set_edid_mode 1 0
EDID_MODE 1 0

関連コマンド#get_edid_lock
#get_edid_mode
#set_edid_copy
#set_edid_lock

● #set_feedback

RS-232 フィードバックを有効 / 無効にします。

構文.....#set_feedback state
パラメーター.....state

種類: 整数
※下記ステータスを表す数値に対応します。

ステータス	説明
0	RS-232 フィードバックを無効
1	RS-232 フィードバックを有効

構文例.....#set_feedback 1
SET_FEEDBACK 1

● #set_gateway

本機のゲートウェイアドレスを設定します。マトリクスが static IP モードに入っていると、ゲートウェイアドレスは変更されますが、DHCP モードの場合、DHCP サーバがゲートウェイアドレスは自動的に割り当てされます。なお、コマンドを実行した後は必ず本機を再起動してください。

構文.....#set_gateway addr
パラメーター.....addr

種類: アドレス
マトリクスのゲートウェイアドレス。アドレスを入力する際にドットをご使用下さい。

構文例.....#set_gateway 10.5.64.1
GATEWAY 10.5.64.1
REBOOT TO APPLY SETTINGS

関連コマンド#get_gateway
#get_http_port
#get_ip_address
#get_ip_mode
#get_ipconfig
#get_mac_addr
#get_netmask
#set_http_port
#set_ip_address
#set_ip_mode
#set_netmask

● #set_http_port

本機の HTTP リスニングポートを設定します。

構文.....#set_gateway port
パラメーター.....port

種類: 整数
※本機の HTTP リスニングポート。

構文例.....#set_gateway 192.168.1.1
GATEWAY 192.168.1.1

関連コマンド#get_gateway
#get_http_port
#get_ip_address
#get_ip_mode
#get_ipconfig
#get_mac_addr
#get_netmask
#set_gateway
#set_ip_address
#set_ip_mode
#set_netmask

● #set_input_hdcp

特定の入力の HDCP モードを設定します。

構文.....#set_input_hdcp input mode
パラメーター

input 種類: 整数
HDMI 入力番号 (1 ~ 8)

mode 種類: 整数
下記 HDCP モードを表す数値に対応します。

モード	説明
0	HDCP コンテンツを拒否
1	HDCP バージョン 2.2 以下を許可
2	HDCP バージョン 1.4 以下を許可

構文例.....#set_input_hdcp 1
INPUT_HDCP 1 0

関連コマンド#get_input_hdcp
#get_output_hdcp
#set_output_hdcp

● #set_io_name

特定の入力の名前を設定します。

構文.....#set_io_name inout name
パラメーター

inout 種類: 整数または文字
※ HDMI 入力 (1 ~ 8) 番号、または HDMI 出力 (A ~ H) の識別子。なお、一度に指定できるのは1つの入力または出力のみです。

name 種類: 文字列
※特定の入力 / 出力の名前。文字列はの最大文字数は 30 です。30 以降の文字は削除されます。

構文例.....#set_io_name 1 Bluray
IO_NAME 1 Bluray

#set_io_name d BIG_screen
IO_NAME D BIG_screen

関連コマンド#get_io_name

● #set_ip_address

本機の IP アドレスを設定します。コマンドを実行した後は必ず本体を再起動して下さい。

構文.....#set_ip_address addr
 パラメーター
 addr.....種類: アドレス
 本機の IP アドレス。アドレスを入力する際にドットをご使用下さい。
 構文例.....#set_ip_address 10.5.64.81
 IP_ADDRESS 10.5.64.81
 REBOOT TO APPLY SETTINGS
 関連コマンド.....#get_gateway
 #get_http_port
 #get_ip_address
 #get_ip_mode
 #get_ipconfig
 #get_mac_addr
 #get_netmask
 #set_gateway
 #set_http_port
 #set_ip_mode
 #set_netmask

● #set_ip_mode

本機の IP モードを設定します。コマンドを実行した後は必ず本体の再起動して下さい。

構文.....#set_ip_mode mode
 パラメーター.....mode 種類: 整数
 下記 IP モードを表す数値に対応します。

モード	説明
0	Static
1	DHCP
2	オート

構文例.....#set_ip_mode 1
 IP MODE 1
 REBOOT TO APPLY SETTINGS
 関連コマンド.....#get_gateway
 #get_http_port
 #get_ip_address
 #get_ip_mode
 #get_ipconfig
 #get_mac_addr
 #get_netmask
 #set_gateway
 #set_http_port
 #set_ip_address
 #set_netmask

● #set_ir_channel

本機の IR チャンネルを設定します。IR リモコンを使用するためには、本体と付属の IR リモコンを同じ IR チャンネルに設定する必要があります。

構文.....#set_ir_channel irch
 パラメーター
 irch.....種類: 整数
 下記 IR チャンネルを表す数値に対応します。

irch	説明
1	IR チャンネル 1
2	IR チャンネル 2
3	IR チャンネル 3
4	IR チャンネル 4

構文例.....#set_ir_channel 2
 IR_CHANNEL 2
 関連コマンド.....#get_ir_channel

● #set_lcd_brightness

本体のフロントパネルにある LCD ディスプレイの輝度を設定します。

構文.....#set_lcd_brightness level
 パラメーター
 level.....種類: 整数
 設定値の範囲は 0 ~ 100。設定値を 100 に設定すると、明るさは最大となります。
 構文例.....#set_lcd_brightness 75
 LCD_BRIGHTNESS 75
 関連コマンド.....#get_lcd_brightness

● #set_netmask

サブネットマスクを設定します。コマンドを実行した後は必ず本体を再起動して下さい。

構文.....#set_netmask addr
 パラメーター
 addr.....種類: アドレス
 本体のサブネットマスクを設定します。アドレスを入力する際にドットをご使用下さい。
 構文例.....#set_netmask 255.255.255.0
 NETMASK 255.255.255.0
 REBOOT TO APPLY SETTINGS
 関連コマンド.....#get_gateway
 #get_http_port
 #get_ip_address
 #get_ip_mode
 #get_ipconfig
 #get_mac_addr
 #get_netmask
 #set_gateway
 #set_http_port
 #set_ip_address
 #set_ip_mode

● #set_output_hdcp

特定の出力の HDCP モードを設定します。

構文.....#set_output_hdcp output mode
 パラメーター
 output.....種類: 文字
 HDMI 出力 (A ~ H) 識別子に対応します。
 mode.....種類: 整数
 下記 HDCP モードを表す数値に対応します。

モード	説明
0	入力と連動
1	常時エンコード

構文例.....#set_output_hdcp a 0
 OUTPUT_HDCP A 0
 関連コマンド.....#get_input_hdcp
 #get_output_hdcp
 #set_input_hdcp

● #set_preset_name

特定の出力に名前を指定します。

構文.....#set_preset_name preset name
 パラメーター
 preset.....種類: 整数
 プリセットの識別子 (1 ~ 16) に対応します。
 name.....種類: 文字列
 プリセット名。名前の最大文字数は 30 です。特殊文字(#, @, *, &, % など) は使用できませんが、スペースは使用可能です。
 構文例.....#set_preset_name 1 LivingRoom
 PRESET_NAME 1 LivingRoom
 関連コマンド.....#get_preset_name

● #set_remote_udp_access

リモート UDP アクセスを有効 / 無効にします。

構文.....#set_remote_udp_access state
パラメーター

state.....種類: 整数
下記ステータスを表す数値に対応します。

ステータス	説明
0	リモート UDP アクセスを無効
1	リモート UDP アクセスを有効

構文例.....#set_remote_udp_access 0
REMOTE_UDP_ACCESS 0

関連コマンド.....#get_remote_udp_access
#get_remote_udp_ip
#get_remote_udp_port
#get_udp_access
#get_udp_port
#set_remote_udp_ip
#set_remote_udp_port
#set_udp_access
#set_udp_port

● #set_remote_udp_ip

リモート UDP の IP アドレスを設定します。

構文.....#set_remote_udp_ip addr
パラメーター

addr.....種類: IP アドレス
本機のリモート UDP IP アドレス。アドレスを入力する際に
ドットをご使用下さい。

構文例.....#set_remote_udp_ip 192.168.1.251
REMOTE_UDP_IP 192.168.1.251

関連コマンド.....#get_remote_udp_access
#get_remote_udp_ip
#get_remote_udp_port
#get_udp_access
#get_udp_port
#set_remote_udp_access
#set_remote_udp_port
#set_udp_access
#set_udp_port

● #set_remote_udp_port

本機のリモート UDP リスニングポートを設定します。

構文.....#set_remote_udp_port port
パラメーター

port.....種類: 整数
本機のリモート UDP リスニングポート (0 ~ 65535)。

構文例.....#set_remote_udp_port 50008
REMOTE_UDP_PORT 50008

関連コマンド.....#get_remote_udp_access
#get_remote_udp_ip
#get_remote_udp_port
#get_udp_access
#get_udp_port
#set_remote_udp_access
#set_remote_udp_ip
#set_udp_access
#set_udp_port

● #set_showme

“Show Me”機能を有効 / 無効にします。“Show Me”機能が有効の時、
本体の全てのボタンは点滅します（電源ボタンを除く）。“Show Me”
機能により、物理的に本体を確認できるため、特に同一製品を複数使
用する場合に有効です。なお、デフォルト設定は無効です。

構文.....#set_showme state
パラメーター

state.....種類: 整数
下記ステータスを表す数値に対応します。

ステータス	説明
0	“Show Me”機能を無効
1	“Show Me”機能を有効

構文例.....#set_showme 1
SET_SHOWME 1

関連コマンド.....#get_discovery
#set_discovery

● #set_telnet_access

本機の Telnet アクセスを有効 / 無効にします。

構文.....#set_telnet_access state
パラメーター

state.....種類: 整数
下記ステータスを表す数値に対応します。

ステータス	説明
0	Telnet アクセスを無効
1	Telnet アクセスを有効

構文例.....#set_telnet_access 1
TELNET_ACCESS 1

関連コマンド.....#get_telnet_access
#get_telnet_port
#get_telnet_welcome
#set_telnet_port
#set_telnet_welcome
#use_telnet_login

● #set_telnet_port

本機の Telnet リスニングポートを設定します。

構文.....#set_telnet_port port
パラメーター

port.....種類: 整数
本機のリモート Telnet のリスニングポート (0 ~ 65535)。

構文例.....#set_telnet_port 23
TELNET_PORT 23

関連コマンド.....#get_telnet_access
#get_telnet_port
#get_telnet_welcome
#set_telnet_access
#set_telnet_welcome
#use_telnet_login

● #set_telnet_welcome

Telnet ウェルカムメッセージを有効 / 無効にします。

構文.....#set_telnet_welcome state
パラメーター

state.....種類: 整数
下記ステータスを表す数値に対応します。

ステータス	説明
0	Telnet ウェルカムメッセージを無効
1	Telnet ウェルカムメッセージを有効

構文例.....#set_telnet_welcome 1
TELNET_WELCOME_SCREEN_IS_ENABLED

関連コマンド.....#get_telnet_access
#get_telnet_port
#get_telnet_welcome
#set_telnet_access
#set_telnet_port
#use_telnet_login

● #set_udp_access

UDP アクセスを有効 / 無効にします。

構文.....#set_udp_access state
パラメーター

state種類: 整数
下記ステータスを表す数値に対応します。

ステータス	説明
0	UDP アクセスを無効
1	UDP アクセスを有効

構文例.....#set_udp_access 0
UDP_ACCESS 0

関連コマンド.....#get_remote_udp_access
#get_remote_udp_ip
#get_remote_udp_port
#get_udp_access
#get_udp_port
#set_remote_udp_access
#set_remote_udp_ip
#set_remote_udp_port
#set_udp_port

● #set_udp_port

ローカル UDP リスニングポートを設定します。

構文.....#set_udp_port port
パラメーター

port種類: 整数
本機の UDP リスニングポート (0 ~ 65535)。

構文例.....#set_udp_port 50007
UDP_PORT 50007

関連コマンド.....#get_remote_udp_access
#get_remote_udp_ip
#get_remote_udp_port
#get_udp_access
#get_udp_port
#set_remote_udp_access
#set_remote_udp_ip
#set_remote_udp_port
#set_udp_access

● #show_firmware_version

本機のファームウェアバージョンを表示します。戻り値としてインストールされているファームウェアのバージョンが表示されます。

構文.....#show_firmware_version
パラメーター.....なし

構文例.....#show_firmware_version
FIRMWARE_VERSION IS V0.2B

● #use_telnet_login

Telnet セッションの開始時のログインを有効 / 無効にします。

構文.....#use_telnet_login state
パラメーター

state種類: 整数
下記ステータスを表す数値に対応します。

ステータス	説明
0	Telnet ログインは有効
1	Telnet ログインは無効

構文例.....#use_telnet_login 0
USE_TELNET_LOGIN 0

関連コマンド.....#get_telnet_access
#get_telnet_port
#get_telnet_welcome
#set_telnet_access
#set_telnet_port
#set_telnet_welcome

● m

特定の出力 (複数可) のマスクングを有効 / 無効にします。

構文.....m state output [...output]
パラメーター.....

state.....種類: 整数
下記ステータスを表す数値に対応します。

ステータス	説明
0	マスクングを無効
1	マスクングを有効

output.....種類: 文字
HDMI 出力 (A ~ H) の識別子

構文例.....m 1 a b
M 1 A B

関連コマンド.....r

● p

特定のプリセットを呼び出します。

構文.....p preset
パラメーター

preset.....種類: 整数
プリセット番号 (1 ~ 16)

構文例.....p 10
P 10

関連コマンド.....r

● r

特定の入力を特定の出力 (複数可) にルーティングします。

構文.....r input output [...output]
パラメーター

input種類: 整数 / 文字列
HDMI 入力 (1 ~ 8) 番号と因数の文字列「OFF」に対応します。なお、因数「OFF」は大文字と小文字の区別はありません。「OFF」に設定すると、入力は選択されません。「OFF」に設定された入力を有効に戻すには、因数として HDMI 入力 (1 ~ 8) 番号を使用します。

output.....種類: 文字
HDMI 出力 (A ~ H) の識別子、複数可。

構文例.....r 1 A
R 1 A

R OFF c
R OFF C

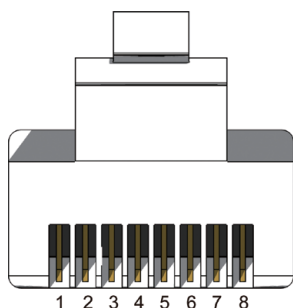
r 1 c
R 1 C

関連コマンド.....p

付録

■ネットワークケーブルのワイヤリング

RJ-45 コネクタの前面



TIA/EIA-568-B 規格のケーブルをご使用ください。ケーブルの終端処理を行う場合、以下の表をご参照ください。

ピン	色	説明
1	オレンジ / 白	TD+ (送信データ、正作動信号)
2	オレンジ	TD- (送信データ、負作動信号)
3	緑 / 白	RD+ (受信データ、正作動信号)
4	青	未使用
5	青 / 白	未使用
6	緑	RD- (受信データ、負作動信号)
7	茶 / 白	未使用
8	茶	未使用

i シールド CAT-5e (以上) ケーブルのご使用をお勧めします。

■デフォルト設定

説明	設定
MAC アドレス	機器によって異なる (変更不可)
IP アドレス	192.168.1.72
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
HTTP リスニングポート	80
Telnet リスニングポート	23
Telnet / TCP アクセス	有効
UDP ポート	50007
UDP アクセス	無効
リモート UDP IP アドレス	192.168.1.255
リモート UDP ポート	50008
リモート UDP アクセス	無効
Gefen Syner-G Discovery	有効
Gefen Syner-G Discovery モード	読み込み / 書き込み
Gefen Syner-G Show Me 機能	Hide Me

説明	設定
出力名	出力 A - 出力 H
A/V 入力名	入力 01 - 入力 08
HDCP (各入力)	バージョン 2.2 以下
HDCP (各出力)	入力と連動
EDID (各入力)	内部 720p 2 チャンネル音声
RS-232 フィードバック	オン
LCD 輝度	60
IR チャンネル	1
ルーティング	入力 1 > 出力 A 入力 2 > 出力 B 入力 3 > 出力 C 入力 4 > 出力 D 入力 5 > 出力 E 入力 6 > 出力 F 入力 7 > 出力 G 入力 8 > 出力 H
プリセット名	Preset_01 - Preset_16
マトリクスロック	無効

■内部 EDID プロフィール

720p 2 チャンネル音声

・ビデオデータブロック

1280x720p @ 60Hz (16:9)
1280x720p @ 50Hz (16:9)
640x480p @ 60Hz (4:3)
720x480p @ 60Hz (16:9)
720x480p @ 60Hz (4:3)
1440x480p @ 60Hz (4:3)
1440x480p @ 60Hz (16:9)
720x576p @ 50Hz (4:3)
1440x480i @ 60Hz (4:3)
1440x480i @ 60Hz (16:9)
720x576p @ 50Hz (16:9)
1440x576i @ 50Hz (4:3)
1440x576i @ 50Hz (16:9)
1440x576p @ 50Hz (4:3)
1440x576p @ 50Hz (16:9)

・音声データブロック

Linear PCM
最大チャンネル数 : 2
サポートするサンプルレート (kHz) : 48 44.1 32
サポートするサンプルサイズ (ビット) : 24 20 16

720p 2 チャンネル音声

・ビデオデータブロック

640x480p @ 60Hz (4:3)
720x480p @ 60Hz (4:3)
720x480p @ 60Hz (4:3)
1280x720p @ 60Hz (native)
1440x480i @ 60Hz (4:3)
720x576p @ 50Hz (4:3)
720x576p @ 50Hz (16:9)
1280x720p @ 50Hz (16:9)
1440x576i @ 50Hz (4:3)

・音声データブロック

Linear PCM
最大チャンネル数 : 2
サポートするサンプルレート (kHz) : 48 44.1 32
サポートするサンプルサイズ (ビット) : 24 20 16

1080p 2 チャンネル音声

・ビデオデータブロック

640x480p @ 60Hz (4:3)	1440x576i @ 50Hz (4:3)
720x480p @ 60Hz (16:9)	1440x576i @ 50Hz (16:9)
720x480p @ 60Hz (16:9)	1440x576p @ 50Hz (4:3)
1280x720p @ 60Hz (16:9)	1440x576p @ 50Hz (16:9)
1920x1080i @ 60Hz (16:9)	1920x1080p @ 50Hz (16:9)
1440x480i @ 60Hz (4:3)	1920x1080p @ 24Hz (16:9)
1440x480i @ 60Hz (16:9)	1920x1080p @ 25Hz (16:9)
1440x480p @ 60Hz (4:3)	1920x1080p @ 30Hz (16:9)
1440x480p @ 60Hz (16:9)	1920x1080i @ 50Hz (16:9)
720x576p @ 50Hz (4:3)	1280x720p @ 24Hz (16:9)
720x576p @ 50Hz (16:9)	1280x720p @ 25Hz (16:9)
1280x720p @ 50Hz (16:9)	1280x720p @ 30Hz (16:9)
1920x1080i @ 50Hz (16:9)	1920x1080p @ 60Hz (16:9)

・音声データブロック

Linear PCM
 最大チャンネル数 : 2
 サポートするサンプルレート (kHz) : 48 44.1 32
 サポートするサンプルサイズ (ビット) : 24 20 16

1080p マルチチャンネル音声

・ビデオデータブロック

640x480p @ 60Hz (4:3)	1440x576i @ 50Hz (4:3)
720x480p @ 60Hz (16:9)	1440x576i @ 50Hz (16:9)
720x480p @ 60Hz (16:9)	1440x576p @ 50Hz (4:3)
1280x720p @ 60Hz (16:9)	1440x576p @ 50Hz (16:9)
1920x1080i @ 60Hz (16:9)	1920x1080p @ 50Hz (16:9)
1440x480i @ 60Hz (4:3)	1920x1080p @ 24Hz (16:9)
1440x480i @ 60Hz (16:9)	1920x1080p @ 25Hz (16:9)
1440x480p @ 60Hz (4:3)	1920x1080p @ 30Hz (16:9)
1440x480p @ 60Hz (16:9)	1920x1080i @ 50Hz (16:9)
720x576p @ 50Hz (4:3)	1280x720p @ 24Hz (16:9)
720x576p @ 50Hz (16:9)	1280x720p @ 25Hz (16:9)
1280x720p @ 50Hz (16:9)	1280x720p @ 30Hz (16:9)
1920x1080i @ 50Hz (16:9)	1920x1080p @ 60Hz (16:9)

・音声データブロック

Linear PCM
 最大チャンネル数 : 2
 サポートするサンプルレート (kHz) : 192 176.4 96 88.2 48 44.1 32
 サポートするサンプルサイズ (ビット) : 24 20 16

Linear PCM

最大チャンネル数 : 8
 サポートするサンプルレート (kHz) : 48 44.1 32
 サポートするサンプルサイズ (ビット) : 24 20 16

DTS

最大チャンネル数 : 6
 サポートするサンプルレート (kHz) : 48 44.1
 最大ビットレート : 0 kHz

AC-3

最大チャンネル数 : 6
 サポートするサンプルレート (kHz) : 48 44.1 32
 最大ビットレート : 640 kHz

Enhanced AC-3

最大チャンネル数 : 8
 サポートするサンプルレート (kHz) : 48 44.1

4K 2 チャンネル音声

・ビデオデータブロック

720x480p @ 60Hz	1920x1080p @ 30Hz (16:9)
1280x720p @ 60Hz (16:9)	3840x2160p @ 24Hz (16:9)
1920x1080i @ 60Hz (16:9)	3840x2160p @ 25Hz (16:9)
1440x480i @ 60Hz (16:9)	3840x2160p @ 30Hz (16:9)
1920x1080p @ 60Hz (16:9)	3840x2160p @ 50Hz (16:9)
720x576p @ 50Hz (16:9)	3840x2160p @ 60Hz (16:9)
1280x720p @ 50Hz (16:9)	4096x2160p @ 24Hz (256:135)
1920x1080i @ 50Hz (16:9)	4096x2160p @ 25Hz (256:135)
1440x576i @ 50Hz (16:9)	4096x2160p @ 30Hz (256:135)
1920x1080p @ 50Hz (16:9)	4096x2160p @ 50Hz (256:135)
1920x1080p @ 24Hz (16:9)	4096x2160p @ 60Hz (256:135)
1920x1080p @ 25Hz (16:9)	

・音声データブロック

Linear PCM
 最大チャンネル数 : 2
 サポートするサンプルレート (kHz) : 192 176.4 96 88.2 48 44.1 32
 サポートするサンプルサイズ (ビット) : 24 20 16

4K マルチチャンネル音声

・ビデオデータブロック

720x480p @ 60Hz	1920x1080p @ 30Hz (16:9)
1280x720p @ 60Hz (16:9)	3840x2160p @ 24Hz (16:9)
1920x1080i @ 60Hz (16:9)	3840x2160p @ 25Hz (16:9)
1440x480i @ 60Hz (16:9)	3840x2160p @ 30Hz (16:9)
1920x1080p @ 60Hz (16:9)	3840x2160p @ 50Hz (16:9)
720x576p @ 50Hz (16:9)	3840x2160p @ 60Hz (16:9)
1280x720p @ 50Hz (16:9)	4096x2160p @ 24Hz (256:135)
1920x1080i @ 50Hz (16:9)	4096x2160p @ 25Hz (256:135)
1440x576i @ 50Hz (16:9)	4096x2160p @ 30Hz (256:135)
1920x1080p @ 50Hz (16:9)	4096x2160p @ 50Hz (256:135)
1920x1080p @ 24Hz (16:9)	4096x2160p @ 60Hz (256:135)
1920x1080p @ 25Hz (16:9)	

・音声データブロック

Linear PCM
 最大チャンネル数 : 2
 サポートするサンプルレート (kHz) : 48 44.1 32
 サポートするサンプルサイズ (ビット) : 24 20 16

Linear PCM

最大チャンネル数 : 8
 サポートするサンプルレート (kHz) : 96 48 44.1
 サポートするサンプルサイズ (ビット) : 24 20 16

AC-3

最大チャンネル数 : 6
 サポートするサンプルレート (kHz) : 48
 最大ビットレート : 640 kHz

Enhanced AC-3

最大チャンネル数 : 8
 サポートするサンプルレート (kHz) : 192 96 48 44.1
 MAT (MLP)

最大チャンネル数 : 1
 サポートするサンプルレート (kHz) : 192 96 48 44.1

DTS

最大チャンネル数 : 6
 サポートするサンプルレート (kHz) : 96 48 44.1
 最大ビットレート : 1536 kHz

DTS-HD

最大チャンネル数 : 8
 サポートするサンプルレート (kHz) : 192 96 48

■仕様

最大対応解像度	4096x2160 at 24 または 30 Hz 3860x2160 at 60Hz (4:2:0) 1080p フル HD 1920x1200 (WUXGA)
最大ピクセルクロック	300MHz
ビデオ入力端子	HDMI Type A(19ピン、メス) × 8
ビデオ出力端子	HDMI Type A(19ピン、メス) × 8
RS-232 端子	D-Sub9ピン(メス) × 1
イーサネット端子	RJ-45 × 1
IR In/Ext 端子	3.5mm ステレオミニ × 1
動作温度	0 ~ +50℃
保存温度	-20 ~ +60℃
保存湿度	0%~95% RH、結露なし
MTBF	50000 時間
電源	DC24V、最大 39W
寸法*・質量	W440 × H89 × D400mm、9.0kg

* 突起部除く

- この製品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。
- この取扱説明書に記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標または商標です。
- 使用および外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。



ヒビノインターサウンド株式会社

〒108-0075 東京都港区港南3-5-12 TEL: 03-5783-3880 FAX: 03-5783-3881
E-mail: info@hibino-intersound.co.jp <http://www.hibino-intersound.co.jp/>